

北海道
大 学
附 属
図 書 館
年 報
2015

Hokkaido University Library
Annual Report



Contents

館長巻頭言	1
Topics	
1. 教育学習支援	2
2. 研究支援	8
3. 社会貢献と国際化	11
4. その他	13
平成 27 年度重点項目	15
連携事業	17
活動日誌	18
職員研修	22
統計	23
図書館委員会名簿	27
組織図	28
人事往来	29

北海道大学附属図書館のミッション

附属図書館は、北海道大学の 4 つの基本理念「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」に基づき、人類の知的資産である学術情報の集積・提供・発信を行い、未来に向けて、知の交流・創成の場として機能する。その実現のために、以下の目標掲げる。

教育学習支援

豊かな情報資源と快適かつ刺激的な学習空間を提供し、自ら学び、課題解決に取り組むことのできる学生の育成を支援する。

研究支援

世界水準の研究を推進するため、本学の研究者が必要とする情報資源を持続的に利用できる環境を整備する。また、本学の研究成果の保存と発信に責任を負う。

社会貢献と国際化

北海道地区における唯一の総合大学の図書館として、他図書館に対する支援を行い、地域住民の生涯学習を支援する。また、海外の大学図書館と協力関係を構築し、交流を推進する。

組織運営

学生、教職員及び研究者と連携・協働し、大学における教育研究支援機能を強化する組織づくりを目指す。図書館職員は図書館や学術情報流通に関する専門性に加え、大学を取り巻く社会の環境変化に対応できる専門性を磨く。

附属図書館年報 2015 年版の 刊行に当たって

北海道大学附属図書館の起源は、1876 年（明治 9 年）、札幌農学校の開校と同時に設置された「書籍室」にあり、1891 年（明治 24 年）に書籍館主任に就任した新渡戸稲造をもって初代館長としています。以来、附属図書館は、大学の発展と歩みをともにし、現在では総蔵書数 380 万冊余り、電子ジャーナルと電子ブックの提供タイトル数約 4 万点、年間入館者数 160 万人余りを誇る我が国有数の大学図書館にまで成長してきました。

附属図書館の使命は、言うまでもなく、学術情報基盤の中心をなす組織及び施設として、大学の教育・研究・社会貢献を支えるところにありますが、その具体的な在り方は、時代の要請に応じて変化します。大学自体が激しいグローバル化の渦中にあり、国際的な大競争時代に突入したいま、図書館の果たすべき役割もまた、グローバル人材の育成や世界最先端の研究の推進を支援するということに重点を置く必要があります。

本学は、昨年度、文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択され、平成 24 年度採択の「グローバル人材育成支援」事業（新渡戸カレッジ）と併せて、全学を挙げて、教育研究のグローバル化に取り組んでいます。附属図書館としても、前ページに掲げた「ミッション」に沿って、こうした事業の推進に協力し、全職員が一体となってこれまで以上に充実した教育学習支援や研究支援に取り組んでまいります。とは言え、ここには相当に厳しいハードルもあります。

実際、附属図書館では、昨年度、外部評価を実施し、5 名の外部評価委員の先生方から数多くのご意見をいただきましたが、中でも、「教育学生支援や研究支援など『内政面』においては極めて充実した活動を行っているのに対し、社会貢献や国際化など『外交面』においては一層の努力が期待される」という総括的評価は、「図書館及び図書館職員のグローバル化対応力を向上させることなしには、グローバル化を目指す教育研究に対する支援も十分にはなしえない」というご指摘として重く受け止めなければならないものと考えております。

さて、附属図書館では、昨年度から『概要』と『年報』を別立てにし、取りまとめに時間を要する活動記録や統計資料は、この年報に掲載し、ステークホルダーに公表することにいたしました。本誌は年報第 2 号になります。附属図書館がどのような活動を行ってきたかをご理解いただくとともに、今後の活動に向けて、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。



附属図書館長

新田 孝彦

1 教育学習支援

A 学習環境の充実

(1) 土日祝日開館時間延長、早朝開館の本実施

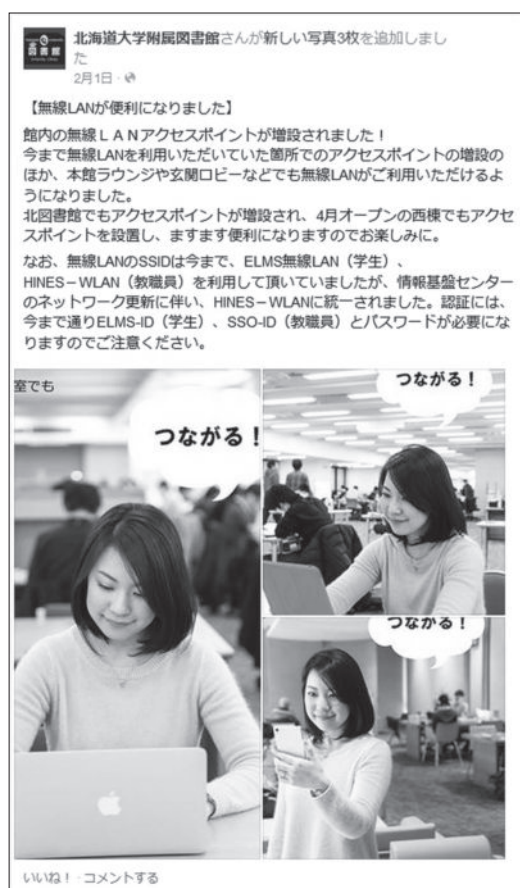
学習支援機能強化（学習時間の増加）を目指して試行していた試験期における土日祝日の開館時間の延長及び平日の早朝開館（8時から）を4月から正式に実施した。

土日祝日開館時間延長実施日は本館15日、北図書館8日、早朝開館実施日は本館199日、北図書館184日である。

早朝開館には、本館では12,691人、北図書館では14,782人（閲覧室入室者数）の入館者数があり、1日あたりの平均人数は本館約65人、北図書館約80人である。

(2) 無線LANの拡大

2月1日（日）から館内無線LANのアクセスポイントを増設した。本館では、ラウンジや玄関ロビーなどでもELMS無線LANが利用できるようになった。北図書館では増設した西棟にもアクセスポイントを設置した。



無線LAN増設を知らせるFacebook記事（2月1日）

B 情報リテラシー教育

(1) 初年次学生の授業支援：「図書館情報入門」

「図書館情報入門」は、学術文献の効率的な検索方法の習得を学習の目的として、初年次学生対象の少人数クラス演習科目「一般教育演習（フレッシュマンセミナー）」担当教員から希望を募り、依頼のあった講義の1コマ（90分）を利用しているもので、合計59回実施し初年次学生の約4割にあたる1,090名が受講した。

少人数クラスである利点を活かし、授業にあった検索例題や教員の要望によるカスタマイズにより、学生が受講している授業と関連した内容とすることで、より理解が深まることを目指している。

99%の学生が内容について「今後の大学での勉強に役立つ」と回答している。

(2) 個別の授業やゼミへの支援：「文献探索ワークショップ」

教員からの申込による「文献探索ワークショップ」は、個別の授業やゼミへの支援を目的とする完全オリジナル型の講習会であり、合計24回実施し443名が受講した。

(3) 大学院生向け外部の専門インストラクターによる支援：「各種データベース講習会」

「SciFinder」「LexisNexis Academic」等の専門的高度なデータベースや文献管理ソフト「EndNote」について、外部の専門インストラクターがレクチャーする講習会を実施した。合計44回開催し443名が受講した。

(4) アカデミック・サポートセンターとの協働：「アカデミックスキルセミナー」

学習サポート組織であるアカデミック・サポートセンター（現ラーニングサポート室）と協働で企画運営する、学習・研究スキルに関するセミナー「アカデミックスキルセミナー」を開催した。レポート・論文のテーマ設定の仕方・書き方、文献の探し方、プレゼンテーションのコツ等を指導するセミナーで、合計34回開催し235名が受講した。

(5) 教育学習支援 外国人留学生支援：「図書館オリエンテーション」



図書館オリエンテーション

新しく本学に入学した外国人留学生を主な対象として、英語と日本語による図書館オリエンテーションを実施した。英語研究会（ESS）や図書館サポーター等、学生との協働実施を図ることで、学生と外国人留学生との交流の場を創出するとともに、学生のスキルアップや支援活動の意義を持たせた。自由参加型の回や留学プログラム単位を考慮した回等合計18回実施し、参加者は延べ104名であった。

参加者の声：

I think that the orientation was really informative and the explanations well easy to understand.

C

グローバル人材育成：
「新渡戸カレッジ」支援事業

図書館では、特別教育プログラム「新渡戸カレッジ」を支援する目的で「新渡戸カレッジWG」を立ち上げている。グローバルな人材を育成する一助となることを目指して、学生が海外で学び、働く意欲を持つ動機付けとなるような事業を企画し実施している。行った主な事業は以下のとおりである。

(1) 企画展示「Who was Inazo Nitobe?」

4月8日（火）から5月7日（水）まで、北図書館総合カウンター前において、新渡戸カレッジ生や留学を志す学生向けに、新渡戸稲造を紹介する企画展示「Who was Inazo Nitobe?」を開催した。

(2) 「北欧留学のススメ」講演会

6月9日（月）、新渡戸カレッジオフィスやEU情報センターと連携し「北欧留学のススメ」講演会を開催した。学生、教員のスウェーデン留学経験者からそれぞれの体験談について、ヘルシンキオフィスのサロマ副所長からは、北欧の大学紹介や北欧諸国の文化の違いについて英語で講演があった。参加者数は40名、うち新渡戸カレッジ生は6名であった。

参加者の声：

- ・北欧留学を考えており、経験者の生の情報を聞くことができて参考になった。
- ・知っているようで知らない北欧の国々について知る機会となり、とても有益かつ面白かった。
- ・英語の勉強を頑張るモチベーションになった。

(3) 「英語コミュニケーション」臨時開催

12月1日（月）、アカデミック・サポートセンター（現ラーニングサポート室）が実施している「英語コミュニケーション」の特別ゲストとして、図書館と交流協定を結んだ米国マサチューセッツ大学アマースト校ライブラリーからシュミット氏を迎え、英語による交流会を開催した。参加者数は17名、うち新渡戸カレッジ生は3名であった。



シュミット氏に質問する参加者

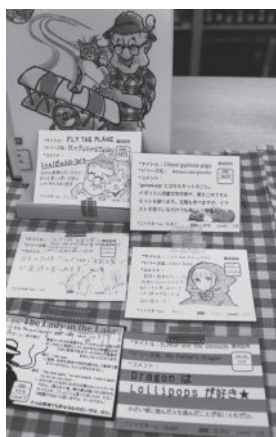
(4) 「めざせ100万語！英語多読マラソン」

英語多読法は、英語の簡単なテキストを自分のレベルに合わせて大量に読んでいく学習方法である。「めざせ100万語！英語多読マラソン」とは、独り学習になりがちなその英語多読法について、ゲーム感覚的に読んだ単語数を累積して100万語を目指すというメディア・コミュニケーション研究院高見准教授らと共に推進している学習支援企画である。今年度も4月から参加受付を開始し、5月からは、Webサイトからの登録受付も始めた。参加登録者数は286名、うち新渡戸カレッジ生は20名であった。

10月には初めて200万語達成者も出た。

11月11日（火）から12月2日（火）まで、「英語多

読マラソン」の関連企画として、参加者による多読資料推薦メッセージのPOP展を開催した。また11月19日(水)には、多読マラソンへの参加を促すため、既に参加している学生3名と、多読を授業で取り入れている英語担当教員の協力で、「スタートアップガイダンス」を開催した。参加者数は6名であった。



多読資料のPOP展

(5) グローバルコンシェルジュ

12月中旬から2月中旬まで、本館及び北図書館において、外国人留学生5名(本館3名、北図書館2名)を雇用し「グローバルコンシェルジュ」として配置した。日本語、英語、母国語で、図書館利用相談受付や学生への英語学習支援等を実施した。相談者数は、本館32名、北図書館9名であった。



グローバルコンシェルジュ告知ポスター

D

学生と協力した図書館づくり： 学生協働WG

学生協働WGは、学生サポーターと協力し、図書館サービスの充実を図っている。学生サポーター制度も2年目を迎え規模を拡大し、登録者数は31名に至った。活動の概要は以下のとおりである。

(1) 学生サポーターとのイベント協力開催

1) Welcome to Library! の実施

4月に新入生や編入生を歓迎するイベント「Welcome to Library!」の一環として、館内に設置されたポイントを廻ることで図書館の使い方が身につくクイズラリー「クイズで図書館めぐり!」を実施した。また、学生サークル「民謡研究会合唱団わだち」によるミニコンサートや「落語研究会」による図書館寄席を企画し運営を行っ

た。

2) オープンキャンパスイベントの実施



オープンキャンパス

8月3日(日)、4日(月)のオープンキャンパスにおいて、学生サポーターによる企画展示「北大生の一日常」や「図書館見学ツアー」を行った。「北大生の一日常」展では、興味深く足を止める高校生が数多く見られ、「図書館見学ツアー」は、学生サポーターが解説し大変好評であった。また、お土産として作成したオリジナルしおりとブックカバーも「複数もらってもよいかな」との問合せがあるほどの人気をみせた。オープンキャンパスの来館者数は、本館825名、北図書館344名、うち図書館見学ツアー参加者数は、本館107名、北図書館35名であった。

3) 日・EU フレンドシップウィークイベントの実施



学生サポーターによる EU フレンドシップ展示

6月16日(月)から20日(金)までの昼休みの時間帯に、メディアコート内において、「EU Music Week」と題し日替わりBGM放送を行った。選曲は、所蔵する視聴覚資料の中からEUやスウェーデンに関するものとし、民族音楽、映画音楽、クラシック、ポップスと多岐にわたった。昼休み限定の鑑賞会であったが、弁当を囲んで歓談しながら音楽を楽しむ利用者の姿が多く見ら

れ、音楽を通してEUの多様性を感じることができた。

4)「学船 洋上のキャンパスおしよる丸展」協働展示



メディアコートでの展示

総合博物館が開催した「学船 洋上のキャンパスおしよる丸展」との協働イベントとして、10月にメディアコート内において「おしよる丸展」を開催した。学生サポーターの協力のもとで、所蔵資料から船や航海に関する図書を選定し、博物館から借用した物品や映像とともに展示を行った。

(2) 学生視点での広報協力

1) 選書ツアー & 選書広報



選書ツアー

7月3日(木)、4日(金)及び10月15日(水)、学生サポーターが書店へ行き、学生の視点で図書館に置きたい図書、読みたい図書、読んで欲しい図書を直接手に取って選ぶ「選書ツアー」を行った。

「選書ツアー」で選んだ図書は259冊で、その後、選んだ図書をオープンエリアで広報する展示会を開催した。コメント付きで展示された図書の貸出状況は良好であり、学生の視点での選書や広報は、他の学生にも図書に対する興味を持たせ、読書を促す効果に繋がった。

2) 広報誌への協力

学生サポーターを、広報誌「楡陰」のモデルとして起用することで、引き続き学生に親しみやすい広報誌作成に努めた。また、学生サポーターによる「キャリアセンター」や「オープンエデュケーションセンター」への訪問インタビュー記事も掲載した。

E 学内ワークスタディ

学内ワークスタディとは、「一定の教育的配慮の下、学生が学内の業務に従事し報酬を得ることで、必要な学費等を賄いつつ、大学で学修するもの」である。対象となるのは、授業料免除及び免除相当となっている学部学生である。

この制度を利用し、本館ではのべ28名、北図書館ではのべ31名を雇用した。作業内容は蔵書点検（資料番号の読み込み作業）や返却図書の配架、書架整備、文献の複写等であった。

雇用者数

業務	採用月	本館	採用月	北図書館
蔵書点検作業	9月	9名	9月	10名
			2月	7名
通常業務	9月	3名	10月	4名
	10月	1名	11月	3名
	11月	7名	12月	3名
	1月	8名	1月	4名

F 障がいのある学生への支援

特別修学支援室と連携し、障がいのある学生を支援する活動をしている学生や教職員、外部の専門業者等の幅広い参加者とともに計5回の修学支援懇話会を開催し、勉強会や支援策の検討を行った。



北海道図書館大会分科会

9月には、障がいのある学生向けの「北海道大学附属図書館利用案内～ユニバーサルデザイン編～」を作成し配布を開始した。また、第56回北海道図書館大会（9月5日（金））において、分科会「色覚の多様性とカラーユニバーサルデザイン」を企画し運営した。



「学びのユニバーサルデザイン」での講義

12月には、教育学研究院松田准教授ほかの講義「学びのユニバーサルデザイン入門」（特別修学支援室による支援学生の研修を兼ねた授業）の「プリント・ディスプレイに関する情報保障」のうち2コマで電子化の法的な知識と具体的な作業について講義した。

一方で、プリント・ディスプレイのための資料電子化作業を試行的に開始した。「図書館の障害者サービスにおける著作権法第37条第3項に基づく著作物の複

製等に関するガイドライン」に基づき、登録利用者の大学院生2名から依頼のあった図書8冊と雑誌論文2件について、出版社からの電子版無償提供の3冊と電子版個人購入の1冊を除き、図書4冊、雑誌論文2件の電子化作業を行った。形式はPDF2件、テキスト4件であった。

試行により、手順の確認・コストの試算・課題点の確認ができた。今後、障がいのある学生を支援する活動をしている学生や講義「学びのユニバーサルデザイン入門」受講生等の協力による電子化作業を開始する予定であるが、残された課題点も多く、他大学と情報交換をして問題解決を図り、よりよいサービスの提供を目指す。

G インターンシップの実施



職員の説明を熱心に聞く実習生

9月1日（月）から9月9日（火）までの土日を除く7日間、3名の学生・大学院生を対象としてインターンシップを実施した。本インターンシップの目的は、「本学における就業体験の機会を与えることにより、学生の職業意識の育成・向上に寄与し、併せて本学に対する理解を深めること」である。

初日は、全体オリエンテーションの後、本館に移動し施設見学を行った。午後の図書の受入業務等から始まった実習の内容は、雑誌の受入業務、電子ジャーナル関連業務、図書の目録作成・分類業務、図書の貸出・返却などのカウンター業務、図書の配架業務、文献複写サービス業務・貸借業務、レファレンス業務、北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP）（以下、「HUSCAP」という）の登録業務、情報リテラシー業務等、図書館業務全般にわたった。最終日には、実習での成果や実習によって得た図書館への感想・意見をまとめたプレゼンテーションを行った。

H 北図書館職場体験学習



課題の対応策を発表する旭丘高校生

北図書館では、札幌市教育委員会からの依頼により、札幌市立高等学校の「職場体験学習」として、8月27日（水）に清田高等学校の2年生3名、9月17日（水）に旭丘高等学校の1年生3名を受け入れた。業務実習の内容は、カウンターでの貸出・返却業務をはじめ、本の配架、蔵書点検、本に透明なフィルムカバーを貼るブックカー掛け等、多岐にわたった。また、プレゼン実習として、オリエンテーションで説明した北図書館の課題（本を返却しない利用者への対策）について対応策を考え発表する学習を行った。

2 研究支援

A 研究者向け講習会の実施



保健科学研究院での説明会の様子

6月12日(木)、6月26日(木)の2回、保健科学研究院において「保健科学セミナー：HUSCAPでの博士論文のインターネット公表に関する諸問題について」を実施した。説明会には、教員および大学院生を中心のべ42名が参加した。

また、6月19日(木) 理学院数学部門において「数学科FD講習会：博士論文のインターネット公表」を実施した。講習会には、教員を中心に24名が参加した。

HUSCAP 担当者から、学位規則改正に伴う博士論文のインターネット公表の概要と、公表における様々な注意点について説明した。また、あわせて本館で開設している「博士論文のインターネット公表」相談ホットラインを紹介した。

B 学術研究コンテンツの整備

(1) バックファイルの整備

電子ジャーナルバックファイルの整備充実によって、研究者は、カレントな研究成果だけではなく過去の研究成果にもオンラインでシームレスにアクセスすることが可能となり、教育研究活動の活性化が期待できる。本学では、バックファイル整備計画を策定し、この計画に基づいてバックファイルを整備している。

この一環として、Royal Society of Chemistry (以下、「RSC」という) 未導入バックファイルを特定経費により買取方式で導入した。これによってオンラインでアクセスできる文献数が約26万件増加した。

加えて、学術文献データベースについても、未導入であったWeb of Science Core Collection: Science Citation

Index Expanded (SCIE) バックファイル1900年～1954年を特定経費により買取方式で導入した。これによって1900年から現在までの自然科学・人文科学分野の学術論文を検索できるようになった。

(2) 学術研究コンテンツの整備

平成27年度学術研究コンテンツの選定方針に基づき、費用対効果が良好でない等中止基準に該当するコンテンツについて、電子ジャーナルは個別契約誌21点、学術文献データベースは2点、特定経費による購入を中止した。また、特定経費により購入しているデータベースCurrent Contents Connect と Web of Science Core Collection との内容・収録範囲等の差異がほぼなくなったことから、学術コンテンツ小委員会での審議の結果、Current Contents Connect の特定経費による購入を中止した。

一方で必要性が高く、既に部局経費で良好な利用実績があるといった新規導入の判定基準を満たす電子ジャーナル3点を新たに特定経費で購入した。

(3) オープンアクセス論文の投稿支援

通常、電子ジャーナル論文をオープンアクセスによって出版する場合には、出版社に対する一定の費用の支払いが発生するが、本学では、費用の無料化や割引のプログラムに参加することでオープンアクセス論文の投稿支援に取り組んでいる。

その一つとして、図書館ではRSCへの投稿論文を無料でオープンアクセス化できる「Gold for Gold」プログラムに参加し、13本の本学研究者投稿論文がオープンアクセスとなった。平成27年からはSpringerのオープンアクセスジャーナルへの掲載料が10%割引になるJUSTICE コンソーシアム参加館向けのプログラムにも参加している。

C 学術成果刊行助成

本学では、学術的価値が高くかつ独創的な著作物の刊行を促進し学術研究成果の社会への還元及び学術の国際交流の推進に資することを目的として、平成20年5月に「学術成果刊行助成」を創設した。助成の対象は図書及び文系欧文誌の刊行である。

図書については4件の申請があり、そのうち2件を採

択した。

- ・カントの世界論／増山浩人
- ・紡績女性労働者の生活記録運動／辻智子

また、欧文誌については、文系8部局を対象に募集を行い、以下の3誌を採択した。

- ・“Eurasia Border Review”(スラブ・ユーラシア研究センター)
- ・“Journal of Applied Ethics and Philosophy”(文学研究科)
- ・“Journal of the Graduate School of Letters”(文学研究科)

前年度採択分の図書である加藤美保子氏の『アジア・太平洋のロシア：冷戦後国際秩序の模索と多国間主義』を11月に北海道大学出版会から刊行した。

現時点で図書を10冊、欧文誌を4誌刊行している。刊行した著作は、本館の教員著作物コーナー及び北図書館で利用可能である。また、欧文誌についてはHUSCAPに掲載し、国内外へ発信している。

D

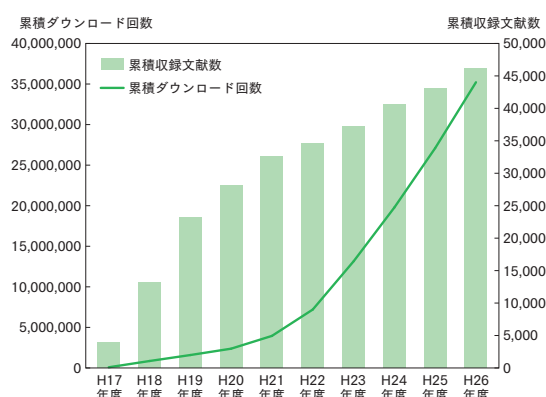
北海道大学学術成果コレクション (HUSCAP)

HUSCAPは、本学に所属している研究者（大学院生を含む）の研究論文、学会発表資料、教材等を電子的に保存し後世へ継承するとともに、インターネットを通じて全世界に提供する電子コレクションである。学術雑誌に掲載された研究論文、研究科等が発行する紀要等を中心に登録・公開している。

(1) 登録公開状況

新規登録公開は3,072件、累積収録文献数は46,109件、累積ダウンロード数は35,633,295回である。

累積収録文献数及び累積ダウンロード数



(2) 博士論文公表

学位規則の一部改正により博士論文のインターネット公表が義務化されたことに伴い、本学では博士論文と内容の要旨及び審査の要旨をHUSCAPに登録し、3月末現在、平成26年度授与486件のうち154件を公開している。

また、研究者に向けた博士論文のインターネット公表についての周知と、著作権に関する情報提供のために「博士論文インターネット公表説明会」を3回開催した。さらに昨年度から実施している「博士論文のインターネット公表相談ホットライン」についても継続的に活動を行い、教員・学生への支援を行っている。

(3) DOI付与

本学は、JaLC準会員となり、研紀要等論文へのDOI (Digital Object Identifier) 登録を開始し、編集委員会等から依頼のあった学内の研究紀要7誌に対しDOIを付与した。これにより、研究紀要の発信力強化に寄与することができた。

(4) 広報活動

HUSCAP及びオープンアクセスの周知に向けた以下の広報を実施した。

- ① 研究室訪問等による教員への働きかけ
- ② 10月20日(月)から11月3日(月)のサステナビリティウィーク及びオープンアクセスウィーク期間に「学術成果のオープンアクセスとHUSCAP」のポスター展示
- ③ HUSCAP公式キャラクター「はすかつぶちゃん」の雪像とアイスクャンドルの制作・点灯式



制作した「はすかつぶちゃん」の雪像とアイスクャンドル

E 北方資料収集、電子化

北方資料とは、北海道のほか樺太、千島列島、アリューシャン列島、ロシア極東地方、シベリア・アラスカ・北氷洋など北太平洋とユーラシア北部の全域にわたる資料群であり、本図書館のユニークなコレクションの一つとなっている。

図書館では北方資料を現在も広く収集しており、北海道関係の新刊図書、古書店からの地図や古書購入も含め686点を受け入れた。そのうち本学所蔵の北方資料を掲載したことによる贈呈本等の寄贈図書が574点と最も多くを占めた。

蓄積した資料は、必要な情報へのアクセスの確保と適切なナビゲーションの構築に配慮した「北方資料データベース（北方関係資料総合目録）」として、蔵書目録と電子化資料を公開している。

北方資料の電子化は、北方貴重資料の約48,000点をほぼ終了し公開した。ガラス乾板資料も約2,000点のうち電子化済みの1,400点について順次公開を進めている。



館脇操氏撮影 静狩湿原

F 遡及入力事業

遡及入力事業は、図書業務の電算化（昭和61年）以前に受入した資料について、遡って蔵書目録データベース化する事業であり、昭和62年に第1期を開始した。

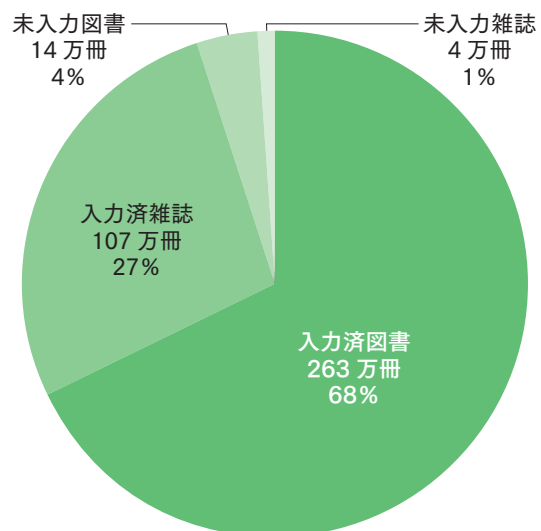
現在、第6期が進行中であり、平成26年度の入力・作業冊数は、以下のとおりである。

①資産受入をしたが蔵書目録データベースに 未入力な図書・製本雑誌	4,066冊
②蔵書目録データベースに入力希望図書	6,275冊
③書誌・所蔵データの品質向上作業	1,768冊
	合計 12,109冊

実施した主な部局は、本館、医学部、工学部、農学部、教育学部、スラブ・ユーラシア研究センターとなっている。

全蔵書約388万冊のうち95%が入力済みとなり、残るは5%の約18万冊である。100%入力完了をめざし、遡及入力事業を進めている。

蔵書 388 万冊の入力状況



3 社会貢献と国際化

A 北方資料の公開

(1) 放映・掲載許可状況

全国からの依頼による放映や図書等への写真掲載等の許可件数は216件あり、資料点数としては869点であった。内訳は以下のとおりである。

- ・放映許可件数：52件 資料数：166点
- ・掲載許可件数：164件 資料数：703点

利用の多かった資料は、以下のとおりである。

資料名	請求記号	許可点数
1 北海道歴検図(目賀田帯刀)	図類 492	36
2 石狩国札幌本通ヨリ西ヲ望ム図 1-6(田本研造)	A(b)19-24	18
3 札幌脇本陣屋上ヨリ東西南ヲ 望ム 1-7(スチルフリート)	A(b)5-11	16

上記資料は複数の図や写真を含んでおり、単体の資料としては「開拓判官島義勇」(道史3-19)が11件許可と第1位、札幌農学校教授の「W. P. ブルックス」(ブルックス47)と「開拓使札幌本庁舎落成記念」(A(a)2)が7件許可と第2位だった。



北海道歴検図 渡島州東岸(上) 箱館



開拓判官島義勇

放映申請では、北海道ローカル局から在京キー局・BS放送局まで幅広い番組で使用されている。新渡戸稲造に関する番組等が多く5件の申請があった。

掲載申請では、平成27年大河ドラマの影響もあり、島義勇・黒田清隆・村橋久成など幕末志士の肖像に多くの依頼があった。また、リニューアルオープンした北海道博物館をはじめ、全国各地の博物館・郷土資料館等からも常設・特別展を問わず通年を通して申請がきている。特に平成27年が薩摩藩英国留学生渡欧150周年、平成30年が明治維新から150周年のためカウントダウン事業を行っている鹿児島からの依頼が多かった。貴重な開

拓使時代の写真や古地図には、新聞・雑誌・書籍・展示・放映を問わずコンスタントに申請がある。

(2) 北方資料企画展示

北方資料WGによる企画で、ロビー展示を行った。

1) 「読んで知る北大の人と歴史」展

本館玄関ロビー 4月1日(火)～6月30日(月)

よく知られた北大の卒業生を紹介し、その業績から本学の歴史を振り返る展示を行った。フロンティア精神にあふれる北大の卒業生が様々な分野で活躍していることを知って、本学に親しみを覚えてもらうことを目的として企画した。

2) 北方資料からみる「江戸・蝦夷・ロシア」交流展

第1期：漂流民大黒屋光太夫の帰還とラクスマン来航

第2期：高田屋嘉兵衛とゴロヴニーン捕虜事件

本館玄関ロビー 第1期 7月1日(火)～9月30日(火)

第2期 10月1日(水)～12月25日(木)

従来から系統的に収集してきた北方地域関係資料の中には、鎖国をしていた江戸時代後期、自らの意思とは無関係にロシアで異文化を体験し帰国した大黒屋光太夫・高田屋嘉兵衛らの足跡資料も含まれている。ロシア人との交流を通して、日露の交流の様子を紹介する展示を行い、グローバル化が推し進められる現代だからこそ、辞書も文法書も無い時代の異文化交流に思いを馳せ、北方資料を通してこのリアルなドラマの面白さを味わってもらうことを目的として企画した。



交流展ポスター

B 国際関係資料の公開

(1) 国連・EU 資料

図書館は、北海道で唯一の国連寄託図書館であり、EU情報センター(EUi)でもある。国連寄託図書館とは、国際連合が、その活動や精神を広く一般に知らせるために世界各国に設置し、資料を寄託している図書館であり、

本学は日本で3番目の寄託図書館として、昭和37年から資料を受け入れている。一方EU情報センターは、欧州連合（EU）への理解を深めてもらうことを目的に、世界各国に設置されており、本学は日本で8番目のEDC（EU資料センター：平成18年10月31日にEUIに名称変更）として指定を受け、1982年から資料（英語版）を受け入れている。

受け入れた国連・EU関連資料を、広く一般に公開するとともに、資料の電子化が進む情勢に対応し、関連する電子情報に対する情報リテラシー教育も行っている。また同時に、コンテンツを利活用し、学内・学外関連機関と連携した国際協力イベントや留学支援イベントの開催、関連するイベント情報の発信により、国連およびEUのアウトリーチ活動への貢献に務めている。図書館の事業は学生はもとより、地域市民の国際性の涵養に資することを目的としている。

（2）国際関係イベント

1) 国際協力カフェ@北大図書館

11月4日（火）から11月14日（金）まで、日本のODAによる国際協力60周年を記念した「もっと知ろう！日本の国際協力展」を開催した。JICAの取り組みを紹介したパネルやODA、国際協力に関する図書を集め展示した。

また、11月7日（金）には、（独）国際協力機構北海道国際センター（JICA北海道）との共同主催による講演会「第2回 国際協力カフェ@北大図書館」を開催した。

図書館職員による「国連とODA」の概説、JICA北海道所長の松島正明氏による講演、国際協力サークル2団体による活動紹介を行った。学生、教職員、市民等参加者数は57名であった。



第2回国際協力カフェ@北大図書館

参加者の感想：

- ・同じ学生が行なっている国際協力の話はとても新鮮。
- ・JICAの方から直接お話を聞ける機会は珍しいので、とても貴重な体験になった。
- ・学生の方のリアルな感想が聞けたのがとてもよかった。

2) 日・EU フレンドシップウィークイベント「Visit Sweden!」

「日・EU フレンドシップウィーク」は、文化、学術、スポーツなどのさまざまな交流イベントを通して、日本とEUの人と人との交流を深めることを目的とした、駐日欧州連合代表部が主催するプログラムである。

毎年、EUに関するテーマでイベントを企画しているが、交流協定校があるスウェーデンのウメオ市が平成26年のEUにおける欧州文化首都に指定されたことを受けて、スウェーデンを取り上げた。



ロビーでの展示

6月2日（月）から19日（木）まで、本館玄関ロビーにおいて、スウェーデンの基礎情報のほか、本学の交流協定校やスウェーデン留学プログラム等を紹介したポスターパネル展示を開催した。展示内容から問題を出題し、正解者にはEUやスウェーデンのグッズが当たるクイズ企画も実施した。

6月6日（金）には、（一財）スウェーデン交流センターの職員で、民族楽器ニッケルハルパ演奏家でもある、ルイス・ビュールンド氏を講師として講演会を実施した。スウェーデンの社会情勢や自然、文化など幅広い分野にわたる講演のほか、ニッケルハルパの生演奏会も行った。参加者数は35名であった。

参加者の声：

- ・ニッケルハルパの演奏が素晴らしかった。



ビュールンド氏

4 その他

A 外部評価

平成15年度以来11年ぶりに外部評価を実施した。これは、平成25年度に実施した自己点検・評価結果の内容を検証し、その客観性・公平性を担保することを目的としたもので、同時に関係者へのヒアリングや実地視察によって得られた知見を提供してもらい、サービス向上と機能強化等、本図書館の活動・運営内容の発展・充実に役立てることを意図している。

外部評価委員は、本学以外の有識者5名に委嘱した。委員は、以下のとおりである。

野家啓一氏（東北大学総長特命教授）

大島寿美子氏（北星学園大学教授）

加藤信哉氏（筑波大学附属図書館副館長）

下田尊久氏（藤女子大学教授）

松澤衛氏（北翔大学准教授）

委員には、『平成25年度北海道大学附属図書館自己点検・評価報告書（平成15年度～24年度）』や『附属図書館利用者アンケート調査報告書』等の資料を事前を送付し、書面調査を依頼した。その上で、9月5日（金）に外部評価委員会を開催し、現地調査を行った。委員会では、委員長に野家委員を選出した後、事務部長による図書館の概況説明、本館・北図書館・部局図書室の見学や学生サポーター5名及び職員との懇談を行い、最後に講評を受けた。

これらの結果に基づき、平成25年度の自己点検・評価の5つの観点及び19の項目に対応する評価とコメントからなる評価シートを作成依頼し、その内容は、最終的に『平成26年度北海道大学附属図書館外部評価報告書』として発行した。なお、19項目の内容は、以下のとおりである。①利用者サービス、②蔵書管理、③学習環境、④学術研究コンテンツの整備、⑤研究支援としての情報リテラシー教育、⑥北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP）、⑦研究用図書の整備、⑧学内連携、⑨学外連携、⑩地域・社会貢献、⑪国際化への対応、⑫組織運営、⑬予算、⑭施設、⑮図書館情報システム、⑯図書資産の管理、⑰安全管理、⑱広報、⑲点検評価。

委員から特に評価が高かったのは、蔵書管理、学術研究コンテンツの整備、HUSCAP、図書館情報システム等であった。一方、より一層の改善が必要との指摘があったものは、研究支援としての情報リテラシー教育、学外

連携、地域・社会貢献、国際化への対応、点検評価である。

また、外部評価委員会報告総評では、以下のような指摘を受けた。

『以上の全体的印象を比喩的にまとめるならば、教育・学生支援や研究支援など「内政面」においては極めて充実した活動を行っているのに対し、社会貢献や国際化など「外交面」においては一層の努力が期待される、ということになるであろう。施設設備や北方資料などの所蔵資料は申し分のないほど整っている、その活用の仕方やサービスの内容について、図書館側からもっと積極的に学生、教員、市民に対して提案し、アピールしてもよいのではないかと感じられた。その点がいささか物足りないことが、委員からの利用者に対する「待ちの姿勢」という指摘につながっているのではないと思われる。

今回作成された「自己点検・評価報告書」は内容的にきわめて優れており、現状の把握と解決すべき課題が網羅されているので、今後はそれらの事項を定期的にレビューし、進捗状況を確認するとともに、たゆまぬ改善に努めていただきたい。』

報告書は、HUSCAPにて公開している（URL：<http://hdl.handle.net/2115/58201>）。

B 新しい広報手段 SNS の現況

速報性のある広報手段として活用している Facebook については、2月に「2,000 いいね!」を獲得し、多くのユーザーにイベント情報や資料・施設情報、さらに学内の風景などの写真を活用して配信している。



本館前の桜と本館の写真（カバー写真）

また、12月1日（月）から SNS による情報配信の多チャンネル化を目的に LINE @公式アカウントを公開した。内

容は Facebook と同様の記事を配信し、学生の世代でより利用率の高い LINE を広報ツールとすることで、より多くのユーザーに情報を提供できると考えたからである。

現状としては、3月31日（火）現在で418人の読者（LINE ではお友だちという）を獲得した。



LINE @公式アカウントのホーム画面

C 研究開発室活動報告

（1）北方資料と谷本晃久室員

北方資料担当では室員からの専門的知識に基づいた助言により、北方関係の古書等貴重な資料について、研究者と連携して計画的な収集を行い、北方資料の充実を図っている。その主な実績として、松前西蝦夷地タカシマ場所関係の文書を購入した。

北方資料 WG では室員から展示企画についてアドバイスを得て、「北方資料からみる「江戸・蝦夷・ロシア」交流展」等を開催した。また北方資料 WG の打合せの中で学習会を行っており、室員に講師を依頼して文書の解説等を受けた。外部資金の獲得についても企画・資料の相談や、推薦書の執筆等で室員からの協力・助言を得ている。

（2）HUSCAP と行木孝夫室員

1) 科研費共同研究の打合せに参加

機関リポジトリに関する科研費共同研究の打合せに参加し、意見交換を行った。

打合せでは、査読付き論文のリポジトリ登録率 100% を目指すインフラ構築について審議し、特に、想定されたシステムのワークフローは、researchmap、KAKEN などの研究者データベースに蓄積された業績情報を把

握、機関ごとによりポジトリ担当者に通知し、リポジトリ担当者が自学の論文著者にリポジトリ登録を促すというもので、全国いずれの大学でも活用できる。

今後、国内でも欧米同様の公的資金を受けた研究成果の公開が義務化されれば、このようなインフラの重要性は極めて高くなる。

2) JaLC DOI

ジャパンリンクセンター（JaLC）により、機関リポジトリ掲載学術コンテンツへの DOI 付与が可能になった。HUSCAP では、9 月に編集委員会が付番した DOI を紀要論文に登録を開始した。また、12 月には紀要論文以外への登録も可能となったため、学内での DOI 付与方式について室員と意見交換を行い、付与方法やシステム仕様を決定した。

（3）図書館情報入門と重田勝介石員

「図書館情報入門」は、開始後 15 年を経たが、内容および教授法について大きな変更なく実施してきた。昨今新たな教授法も開発されているため、より習得効果の高い内容となるよう、今回その内容と教授法について見直しを行った。図書館は、内容を検討し、室員はその内容を効果的に実施、教授する方法を検討した。具体的には、学習動機付けの強化やペアワークの導入といったインストラクショナル・デザイン等の学習理論の基礎知識習得から目標再設定、教材設計まで、理論的な枠組みを論拠とした教授法を採用した。新たなプログラムは次年度の「図書館情報入門」の講義から適用予定である。

（4）留学支援と正木幹生室員

図書館の国際化対応の推進と学生、特に新渡戸カレッジ生の英語力や国際感覚の涵養支援を目的として、室員と図書館の新渡戸カレッジ WG、学習支援企画担当、調査支援担当との協働により、世界で活躍するためのモチベーションを高める事業及び新渡戸カレッジ生や外国人留学生に対する支援事業を実施した。

具体的には、日・EU フレンドシップウィークイベント「Visit Sweden!」展における海外留学支援プログラムの紹介や資料の提供、図書館が実施する国際協力をテーマとした事業への助言、協力、その他相互に関連する事業の広報協力を行った。

平成 27 年度重点項目

1

オープンエリアやアクティブラーニングフロア等の施設や設備を活用した学習支援

オープンエリア（本館）やアクティブラーニングフロア（北図書館）等を活用した学習支援活動を、以下5つの観点から推進する。

（1）施設、設備等の広報活動

1) 学生への広報

- ・オリエンテーション等で図書館が行っている学習支援事業を紹介する。図書館内のみならず、各学部や大学院でのオリエンテーションにも参加し紹介する。

2) 教員への広報

- ・図書館の施設や設備を認知、活用してもらうため、FD研修での紹介や教育活動支援パンフレット「図書館は先生の『教える』を応援します！」を配布する。

（2）学習支援事業

1) 学習支援

- ・図書館利用案内や文献探索等のサポートを行う。外国人留学生向けには、多言語でのオリエンテーションの実施や図書館利用相談等も行う。

2) オリジナルコンテンツ作成

- ・学習や研究に役立つ資料を作成し配布する。

（3）情報リテラシー支援事業

1) 学習を支援する各種講習会

- ・ラーニングサポート室と協力し、「アカデミックスキルセミナー」（学習、研究スキルに関する各種セミナー等）を実施する。

2) 専門分野を対象とした講習会や文献収集、データベース講習会

- ・授業や教員と協力し、特定の分野やテーマに絞った講習会を実施する。また外部から専門のインストラクターを招いて文献収集やデータベース講習会を実施する。

3) 「知の交流・創生場」を目指したイベント

教員と協力し、学問領域を超えた課題解決に寄与する講演会等を実施する。

（4）グローバル人材育成事業

1) 英語多読マラソン企画

- ・授業や教員と協力し、「英語多読マラソン」のより一層の活性化を図る。

2) 国際感覚涵養企画

- ・新渡戸カレッジオフィスや国際本部と協力し、新渡戸カレッジ生や英語力を高めたい学生、留学等海外での活動に関心ある学生向けに、講演会やパネル展示を開催する。

（5）資料及び施設、設備の利用促進事業

1) 資料紹介展示

- ・学生や教員と協力し、資料紹介の展示を開催する。

2) 施設・設備の他組織との協力による活用

- ・他部署や教員と協力し、授業や成果発表等の場所として活用し、知識交流の場として機能させる。

2 HUSCAP10WG の設置

1 月に発足した HUSCAP10WG は、研究者及び学生を対象とした HUSCAP とオープンアクセスに関する周知活動を通し、オープンアクセスに対する理解と学術成果のセルフ・アーカイビングの促進を図ることを目的としている。

この HUSCAP10WG では、次の点を任務とする。

- ・7 月に運用 10 周年を迎える HUSCAP の記念イベント等の企画・広報・実施
- ・図書館職員を対象とした、HUSCAP 及びオープンアクセスに関わる研修・講演会の開催
- ・その他 HUSCAP 及びオープンアクセスに関わる学内広報に関すること

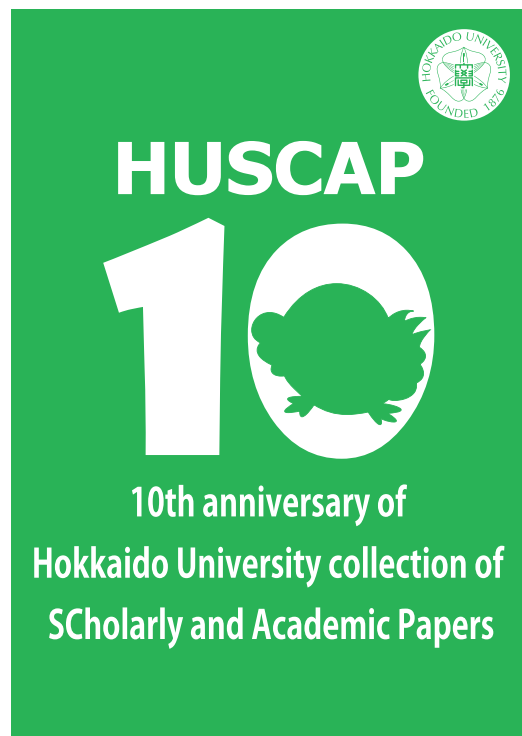
メンバーは HUSCAP を所掌する学術システム課だけでなく、部局図書室で HUSCAP を担当している職員や機関リポジトリ業務に関心のある図書館職員で構成しており図書館全体での事業としている。また、オープンアクセスだけではなく、昨今話題となっているオープンサイエンスについても HUSCAP10WG で扱うことにした。

これを受けて、HUSCAP10WG では以下の活動計画を策定した。

- ①研究者に対する HUSCAP の認知度向上、投稿論文増加のため、研究室を訪問して HUSCAP の広報活動を行う。
- ② HUSCAP を支える職員の資質向上のため、図書館職員向けのオープンアクセスやオープンサイエンスに関する研修を開催する。
- ③他部署の協力を得て「博士論文インターネット公表」説明会を複数回開催する。
- ④オープンサイエンスやオープンアクセスなど図書館で行っている研究支援活動に特化したサイトを公開する。
- ⑤ 10 周年記念イベントとして、HUSCAP のこれまでの 10 年の沿革とこれからの時代に求められる機関リポジトリの役割についての展示を開催する。
- ⑥他部署と連携した研究支援に関わるシンポジウムを開催する。
- ⑦オープンサイエンスや HUSCAP について分かりやすくまとめた、チラシを作成し、研究者に配布する。

⑧オープンアクセスウィークに参画する。

⑨活動報告書を作成する。



運用 10 周年を記念し作成したロゴ

連携事業

平成 26 年度

No.	時期	内容	連携・連携先		備考
1	4/7 ~ 2/27	めざせ 100 万語！ 英語多読マラソン	メディア・コミュニケーション研究院 高見敏子准教授、浜井祐三子准教授、原田真見准教授	学内	http://www.lib.hokudai.ac.jp/support/nitobe/tadoku_marathon/
2	6/2 ~ 6/19	日・EU フレンドシップウィーク 企画展示「Visit Sweden!」	一般財団法人スウェーデン交流センター（協賛）、駐日欧州連合代表部、北海道スウェーデン協会、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター、在札幌スウェーデン王国名誉領事館、スウェーデン大使館（後援）	学外	http://www.lib.hokudai.ac.jp/2014/05/16/25411
3	6/5 ~ 6/8	紙上ビブリオバトル in 北大	図書館サークル	学内	Facebook 6/4
4	6/6	日・EU フレンドシップウィークイベント「ルイース・ビュールンドさん講演会」	一般財団法人スウェーデン交流センター（協賛）、駐日欧州連合代表部、北海道スウェーデン協会、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター、在札幌スウェーデン王国名誉領事館、スウェーデン大使館（後援）	学外	Facebook 6/8
5	6/9	日・EU フレンドシップウィークイベント「北欧留学応援講演会・北欧留学のススメ」	一般財団法人スウェーデン交流センター（協賛）、新渡戸カレッジオフィス、駐日欧州連合代表部、北海道スウェーデン協会、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター、在札幌スウェーデン王国名誉領事館、スウェーデン大使館（後援）	学内 学外	http://www.lib.hokudai.ac.jp/2014/05/16/25571
6	6/9 ~ 7/4	連続スキルアップセミナー 全 12 回	アカデミック・サポートセンター	学内	
7	6/16 ~ 20	日・EU フレンドシップウィークイベント EU MUSIC WEEK		学内 学外	Facebook 6/13、6/16、6/18、6/19
8	7/9	企画展示「おしよ丸展」	総合博物館		http://www.lib.hokudai.ac.jp/2014/09/18/29005
9	8/21	第 1 回新任教員キャンパスツアー	北海道大学高等教育推進機構	学内	高等教育ジャーナル 22 号
10	8/27	札幌市立高校生職場体験学習	札幌清田高等学校	学外	北大時報 727 号
11	9/17	札幌市立高校生職場体験学習	札幌旭丘高等学校	学外	北大時報 727 号
12	9/24 ~ 10/17	STAND UP TAKE ACTION in Hokudai 2014 パネル展示「食と農から考えるサステナビリティ」	国連大学サステナビリティ高等研究所	学内 学外	http://www.lib.hokudai.ac.jp/2014/09/03/28582
13	9/25 ~ 10/14	留学生向け図書館オリエンテーション	北海道大学国際本部、北海道大学英語研究会	学内	
14	10/8	STAND UP TAKE ACTION in Hokudai 2014	北大マルシェ（共催）、独立行政法人国際協力機構北海道国際センター、北海道、公益法人札幌国際プラザ、日本国際連合協会北海道本部（後援）	学内 学外	Facebook 10/8
15	10/14 ~ 30	「フランス留学日本縦断プロモーションツアー 2014」連動図書展示「本で旅するフランス」	北海道大学国際本部（共催）	学内	http://www.lib.hokudai.ac.jp/2014/10/14/29414/
16	11/4 ~ 14	パネル展示・図書展示「もっと知ろう！日本の国際協力展」	独立行政法人国際協力機構北海道国際センター（主催）、北海道大学国際本部（協力）	学内 学外	http://www.lib.hokudai.ac.jp/2014/10/28/29709/
17	11/7	第 2 回国際協力カフェ@北大図書館	独立行政法人国際協力機構北海道国際センター（主催）、北海道大学国際本部（協力）	学内 学外	Facebook 10/28
18	11/17 ~ 12/11	卒論・修論を乗り切る！これから始める執筆・発表セミナー 全 7 回	アカデミック・サポートセンター	学内	http://www.lib.hokudai.ac.jp/2014/11/14/29961/
19	11/19	めざせ 100 万語！ 英語多読マラソン スタートアップガイダンス	メディア・コミュニケーション研究院 高見敏子准教授、浜井祐三子准教授、原田真見准教授	学内	http://www.lib.hokudai.ac.jp/support/nitobe/tadoku_news/
20	11/26 ~ 12/4	これから論文を書く人のための文献収集セミナー 全 4 回	アカデミック・サポートセンター	学内	http://www.lib.hokudai.ac.jp/2014/11/14/29955/
21	12/15 ~ 2/13	グローバル・コンシェルジュ試行	北海道大学国際本部	学内	Facebook 1/15
22	1/9 ~ 3/31	“With malice toward none, with charity for all” —遠友夜学校の歴史	大学文書館	学内	北大時報 731 号
23	3/20	古本クリーニングデー	北海道大学施設部・サステナブルキャンパス推進本部	学内	http://www.osc.hokudai.ac.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=148

活動日誌

平成 26 年度

4 月

4/ 1 ~ 6/30	企画展示「読んで知る北大の人と歴史」
4/ 7	平日早朝開館（朝 8 時開館）本実施（朝 8 時開館）（本館・北図書館）
4/ 7 ~ 2/27	「めざせ 100 万語！ 英語多読マラソン」企画
4/ 8 ~ 5/ 7	企画展示「Who was Inazo Nitobe？」（北図書館）
4/ 9 ~ 4/11	図書館利用ガイダンス（本館） 全 6 回
4/ 9 ~ 4/11	平成 26 年度北海道地区国立大学法人等初任職員研修（管理課、利用支援課）
4 /9 ~ 4/18	図書館利用ガイダンス（北図書館） 全 20 回
4/14	平成 26 年度第 1 回広報委員会
4/18 ~ 4/19	第 46 回国立大学図書館協会北海道地区協会総会（館長、事務部長、管理課長）（室蘭工業大学）
4/21	国立国会図書館デジタル資料送信サービス提供開始
4/21	北海道大学民謡研究会合唱団わだちミニコンサート
4/24	北海道大学落語研究会図書館寄席
4/30	平成 26 年度第 1 回図書選定小委員会（職員委員）定例会

5 月

5/ 7	JaLC ガイドライン・タスクフォース会議（学術システム課）
5/ 8 ~ 5/29	本は脳を育てる「特別展示」（北図書館）
5/ 9	北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（利用支援課）
5/14	平成 26 年国立大学図書館協会新理事会（館長、事務部長、管理課長）（東京大学）
5/16	附属図書館新任職員 SD 研修
5/22	図書館情報システム第 5 回定例会議
5/23 ~ 5/27	安全教育講習会（5/23、26、27）
5/26 ~ 5/28	平成 26 年度目録システム講習会講師ガイダンス（学術システム課）（NII）
5/27	平成 26 年度第 2 回図書選定小委員会（職員委員）定例会
5/29 ~ 5/30	学術情報基盤オープンフォーラム 2014（学術システム課）（NII）
5/30	北海道地区大学図書館協議会幹事館会議（利用支援課長、利用支援課課長補佐）
5/30 ~ 5/31	日本医学図書館協会第 85 回総会及び分科会（利用支援課）（日本科学未来館）

6 月

6 月 ~ 7 月	平成 26 年度国立大学法人北海道大学事務職員英語研修（上級）（利用支援課）
6 月 ~ 7 月	平成 26 年度国立大学法人北海道大学事務職員英語研修（中級）（利用支援課）
6/ 1 ~ 7/31	企画展示「"エルムの森"の青春—北大生の群像 1876-1949」（第 2 期）（北図書館）
6/ 2 ~ 6/19	日・EU フレンドシップウィーク 企画展示「Visit Sweden!」（本館）
6/ 3 ~ 6/ 4	平成 26 年度目録システム講習会講師ガイダンス（管理課、利用支援課）（NII）
6/ 5 ~ 6/ 8	紙上ビブリオバトル in 北大
6/ 5	シラバス会議（利用支援課課長補佐）
6/ 5	New Education Expo2014（利用支援課）（札幌）
6/ 6	日・EU フレンドシップウィークイベント「ルイース・ビューランドさん講演会」
6/ 9	日・EU フレンドシップウィークイベント「北欧留学応援講演会・北欧留学のススメ」
6/ 9	平成 26 年度第 1 回学術研究コンテンツ小委員会
6/12	保健科学セミナー：HUSCAP での博士論文のインターネット公表に関する諸問題について（学術システム課）
6/13	平成 26 年度第 2 回広報委員会
6/16 ~ 9/12	平成 26 年度国立大学法人北海道大学事務職員英語研修（基礎英会話）（管理課、利用支援課）
6/16 ~ 6/20	日・EU フレンドシップウィークイベント「EU MUSIC WEEK」
6/16	平成 26 年度 JAIRO Cloud 講習会（学術システム課）（NII）
6/17	関西学院大学来館
6/18	北海道 EU 協会来館
6/19 ~ 6/20	第 10 回国立大学図書館協会総会・マネジメントセミナー（館長、事務部長、管理課長）（国立オリンピック記念青少年センター）
6/19	理学研究院数学部門 FD 講習会：HUSCAP での博士論文のインターネット公表（学術システム課）
6/24	平成 26 年度第 3 回図書選定小委員会（職員委員）定例会
6/24	サステナビリティ・ウィーク第 1 回実行委員会（利用支援課、学術システム課）
6/25	北海道図書館連絡会議（利用支援課長）
6/25 ~ 6/27	平成 26 年度目録システム講習会（図書コース）（利用支援課）
6/25 ~ 6/26	平成 26 年度北海道地区国立大学法人事務情報化講習会（Access 初級編）（管理課、利用支援課、学術システム課）
6/26	保健科学セミナー：HUSCAP での博士論文のインターネット公表に関する諸問題について（学術システム課）
6/30 ~ 7/11	平成 26 年度大学図書館職員長期研修（利用支援課）（筑波大学）
6/30	平成 26 年度第 1 回研究開発室会議

7 月

7/ 1 ~ 9/30	企画展示「北方資料からみる「江戸・蝦夷・ロシア」交流展」（第 1 期）
7/ 1	平成 26 年度第 1 回図書選定小委員会
7/ 1	平成 26 年度第 1 回学術成果発信小委員会

	7/ 3 ~ 7/ 4	平成 26 年度第 1 回選書ツアー（利用支援課）
	7/ 3	平成 26 年度 JAIRO Cloud 講習会（学術システム課）（天使大学）
	7/ 8	北海道 EU 協会設立記念セミナー（利用支援課）
	7/ 9	駐日 EU 代表部メイブ・コリンズ公使来館
	7/10	国立大学図書館協会教育学習支援検討特別委員会実践事例普遍化小委員会（利用支援課長）
	7/11	第 10 回学術情報ソリューションセミナー 2014in 札幌（管理課、利用支援課、学術システム課）（札幌医科大学）
	7/11	第 228 回図書館委員会（平成 26 年度第 1 回）
	7/15	平成 26 年度第 3 回広報委員会
	7/15 ~ 7/17	平成 26 年度北海道地区国立大学法人等中堅職員研修（利用支援課、学術システム課）
	7/18	平成 26 年度第 1 回図書担当係長連絡会議
	7/18	北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（利用支援課）（道都大学）
	7/18 ~ 10/ 3	インフォメーションデスク@オープンエリア試行（利用支援課）
	7/23	第 162 回北図書館委員会
	7/23	平成 26 年度第 4 回図書選定小委員会（職員委員）定例会
	7/28 ~ 7/29	著作権セミナー（管理課、利用支援課）
8月	8/ 1 ~ 9/30	企画展示「"エルムの森"の青春—北大生の群像 1876-1949」（第 3 期）（北図書館）
	8/ 1 ~ 8/ 2	機関リポジトリ推進委員会 WG（事務部長、学術システム課）（NII）
	8/ 1	2014 年度日本医学図書館協会北海道地区研修会「システムティックレビューを知る」（利用支援課）（札幌医科大学）
	8/ 3 ~ 8/ 4	本館オープンキャンパス（利用支援課）
	8/ 4	UMASS アマースト校との図書館交流の協定締結
	8/ 6	URA アドバンストセミナー「HORIZON2020 勉強会」（利用支援課）
	8/ 7 ~ 8/ 8	平成 26 年度国立大学法人北海道大学事務職員英語研修（グローバル化対応）（利用支援課）
	8/ 8	法人文書等研修会（管理課、利用支援課、学術システム課）
	8/21	第 1 回新任教員キャンパスツアー
	8/22	第 57 回北海道地区大学図書館職員研究集会（管理課、利用支援課、学術システム課）（道都大学）
	8/25 ~ 8/27	平成 26 年度図書館等職員等著作権実務講習会（利用支援課）
	8/27	平成 26 年度第 5 回図書選定小委員会（職員委員）定例会
	8/27	図書館情報システム第 6 回定例会議
	8/27	札幌市立高校生職場体験学習（北図書館）（清田高校 3 名）
	8/29	第 64 回北海道地区大学図書館協議会総会幹事館会議（館長、事務部長、利用支援課長、利用支援課課長補佐）（札幌市立大学）
9月	9/ 1 ~ 9/12	インターンシップ（北大 3 名・筑波大 2 名）、図書館実習（武蔵女子短大 8 名）
	9/ 4 ~ 9/ 5	第 56 回（平成 26 年度）北海道図書館大会（副館長、利用支援課長、管理課、利用支援課、学術システム課）（北星学園大学）
	9/ 5	北海道大学附属図書館外部評価委員会（副館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、学術システム課長）
	9/ 9	平成 26 年度第 4 回広報委員会
	9/ 9 ~ 9/11	JUSTICE 版元説明会（管理課）（NII）
	9/12	第 88 次国立七大学附属図書館協議会、第 13 回国立七大学附属図書館長会議、第 47 回国立七大学附属図書館事務部長会議（館長、事務部長、管理課長）（九州大学）
	9/14	震災訓練プログラム saveMLAK メソッド・ファシリテーター養成講座（管理課）（横浜）
	9/16 ~ 9/18	国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会（利用支援課）（国文学研究資料館）
	9/17	札幌市立高校生職場体験学習（北図書館）（旭丘高校 3 名）
	9/18	選書ツアー（北図書館）
	9/24 ~ 10/17	パネル展示「食と農から考えるサステナビリティ」（本館）
	9/25	平成 26 年度目録システム講習会（雑誌コース）（管理課、利用支援課）
	9/25	HUSTEP 学生向け図書館オリエンテーション（利用支援課）
	9/26	第 2 回 SPARC Japan セミナー 2014（学術システム課）（NII）
	9/29 ~ 10/ 3	少年よ、学部を選べ！ 2014（北図書館）
	9/30	平成 26 年度第 6 回図書選定小委員会（職員委員）定例会
	9/30	平成 26 年度第 1 回学術成果刊行助成審査委員会
10月	10/ 1 ~ 11/30	企画展示「"エルムの森"の青春—北大生の群像 1876-1949」（第 4 期）（北図書館）
	10/ 1 ~ 12/25	企画展示「北方資料からみる「江戸・蝦夷・ロシア」交流展」（第 2 期）
	10/ 1	鳥取大学来館
	10/ 2 ~ 11/ 6	本は脳を育てる「特別展示」（北図書館）
	10/ 2	留学生オリエンテーション（利用支援課）
	10/ 3	北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（利用支援課課長補佐）
	10/ 6 ~ 10/10	新規来日留学生向け図書館オリエンテーション（利用支援課）
	10/ 6 ~ 10/ 7	機関リポジトリ推進委員会（事務部長）（NII）
	10/ 8	STAND UP TAKE ACTION in Hokudai 2014（利用支援課）

11月

10/ 8	平成 26 年度第 2 回学術成果刊行助成審査委員会（メール開催）
10/14 ～ 10/30	図書展示「本で旅するフランス」（本館）
10/14 ～ 10/15	国立大学図書館協会教育学習支援検討特別委員会情報リテラシー教育検討小委員会（利用支援課）（NII）
10/14	現代日本学プログラム学生向け図書館オリエンテーション（利用支援課）
10/15	平成 26 年度北海道地区大学 SD 研修「大学職員セミナー」（利用支援課）
10/15 ～ 10/16	平成 26 年度北海道地区国立大学法人事務情報化講習会（ACCESS 初級編）（管理課、利用支援課、学術システム課）
10/15	平成 26 年度第 2 回選書ツアー（利用支援課）
10/17	平成 26 年度北海道大学附属図書館講演会
10/17	国立大学図書館協会総務委員会（事務部長）（東京大学）
10/20 ～ 11/ 3	国際オープンアクセスウィーク展示「学術成果のオープンアクセスと HUSCAP」
10/21 ～ 10/22	オープンアクセス・サミット 2014（学術システム課）（NII）
10/24	北海道地区私立大学図書館協議会 2014 年度 第 2 回業務研究会（学術システム課）（藤女子大学）
10/29 ～ 10/31	国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会（利用支援課）（国文学研究資料館）
10/30 ～ 10/31	第 35 回（2014 年度）EUi セミナー（利用支援課）（福山大学）
10/30	スーパーグローバル大学説明会（利用支援課）
10/31	平成 26 年度第 7 回図書選定小委員会（職員委員）定例会
10/31	平成 26 年度第 5 回広報委員会
10/31 ～ 11/ 1	第 100 回全国図書館大会東京大会（利用支援課）（明治大学）
11/ 4 ～ 11/14	パネル展示・図書展示「もっと知ろう！日本の国際協力展」（本館）
11/ 5	機関リポジトリ推進委員会 WG（学術システム課）（NII）
11/ 5 ～ 11/ 7	第 16 回図書館総合展 / 学術情報オープンサミット 2014（事務部長、管理課、利用支援課、学術システム課）（横浜）
11/ 6	和歌山大学来館
11/ 6	多文化交流 FD（利用支援課）
11/ 7	第 2 回国際協力カフェ@北大図書館（利用支援課）
11/10	平成 26 年度第 3 回図書選定小委員会
11/10	SINET 及び学認・UPKI 証明書説明会（学術システム課）（NII）
11/11	北海道地区大学図書館協議会幹事館会議（利用支援課長、利用支援課課長補佐）
11/11 ～ 11/13	平成 26 年度北海道地区国立大学法人等係長研修（管理課、学術システム課）
11/11 ～ 11/14	平成 26 年度大学図書館職員短期研修（利用支援課、学術システム課）（東京大学）
11/11 ～ 12/ 2	「めざせ 100 万語！ 英語多読マラソン」ランナーオススメ POP 展
11/12	北海道図書館連絡会議（利用支援課）（北海道立図書館）
11/13	寄贈本のリユースコーナー設置（本館）
11/14	平成 26 年度第 2 回図書担当係長連絡会議
11/14	東京大学来館
11/14	文学部新規来日留学生向け図書館オリエンテーション（利用支援課）
11/17 ～ 12/11	卒論・修論を乗り切る！これから始める執筆・発表セミナー 全 7 回
11/17	国立大学図書館協会秋季理事会（館長、事務部長、管理課長）（東北大学）
11/18 ～ 11/20	平成 26 年度北海道地区国立大学法人事務情報化講習会（ACCESS クエリ編）（管理課、利用支援課、学術システム課）
11/19	「めざせ 100 万語！ 英語多読マラソン」スタートアップガイダンス（北図書館）
11/23 ～ 11/25	第 46 回国連寄託図書館年次会議（利用支援課）（国連大学本部）
11/25	防災訓練（本館）
11/26	教育学習支援検討特別委員会実践事例普遍化小委員会（利用支援課長）
11/26 ～ 12/ 4	これから論文を書く人のための文献収集セミナー 全 4 回
11/26 ～ 11/28	平成 26 年度学術情報リテラシー教育担当者研修（利用支援課）（NII）
11/27	平成 26 年度第 1 回研修出張報告会
11/27	平成 26 年度第 8 回図書選定小委員会（職員委員）定例会
11/28	図書館情報システム第 7 回定例会議
11/28	機関リポジトリ推進委員会コンテンツ WG（学術システム課）
11/28	平成 26 年度国立大学図書館協会北海道地区協会事務部課長室長会議（事務部長、管理課長、利用支援課長、学術システム課長）
11/28	機関リポジトリ推進委員会 WG（学術システム課）（NII）
12/ 1 ～ 1/30	企画展示「“エルムの森”の青春—北大生の群像 1876-1949」（第 5 期）（北図書館）
12/ 1	「英語コミュニケーション」臨時開催（北図書館）
12/ 1	マサチューセッツ大学シュミット氏来館
12/ 2 ～ 12/ 3	平成 26 年度北海道地区国立大学法人等学生支援担当職員 SD 研修（利用支援課）
12/ 2 ～ 12/12	雑誌と論文検索、新聞、電子ブックのガイダンス 全 9 回
12/ 3	北図書館消防訓練

12月

	12/ 3	北海道地区私立大学図書館協議会 2014 年度 第 3 回業務研究会（利用支援課）（酪農学園大学）
	12/ 4、11	学びのユニバーサルデザイン（利用支援課）
	12/ 5	平成 26 年度第 6 回広報委員会
	12/ 8 ～ 12/10	平成 26 年度北海道地区国立大学法人事務情報化講習会（ACCESS クエリ応用編）（管理課）
	12/10 ～ 12/12	学術情報ウェブサービス担当者研修ファシリテータ（学術システム課）（NII）
	12/10 ～ 12/25	渡り廊下ポスター展示
	12/11	平成 26 年度第 3 回学術成果刊行助成審査委員会
	12/12	北海道図書館連絡会議（利用支援課）（北海道立図書館）
	12/15 ～ 2/13	グローバル・コンシェルジュ（利用支援課）（本館、北図書館）
	12/16 ～ 12/17	AED 講習会
	12/18 ～ 12/19	平成 26 年度第 1 回 GIF プロジェクトチーム合同会合（利用支援課）（NII）
1 月	1/ 6 ～ 1/31	平成 26 年度国立大学法人北海道大学事務職員実践英語研修（利用支援課）
	1/ 9 ～ 3/31	大学文書館共催展示「"With malice toward none, with charity for all" ―遠友夜学校の歴史―
	1/15	サステナビリティ・ウィーク第 2 回実行委員会（学術システム課）
	1/19 ～ 3/31	ロビー写真展示
	1/19 ～ 2/13	平成 26 年度国立大学法人北海道大学事務職員実務英語研修（学術システム課）
	1/23	北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（利用支援課課長補佐）
	1/26	第 7 回機関リポジトリ推進委員会（事務部長）（NII）
	1/27 ～ 1/29	国立大学図書館協会シンポジウム（利用支援課）（名古屋大学）
	1/27	平成 26 年度第 9 回図書選定小委員会（職員委員）定例会
	1/28	日仏オープンアクセスワークショップ（事務部長）（フランス大使館）
	1/29	MLA による地域デジタル・アーカイブの共同利用に関する研究会（利用支援課）（北海道立図書館）
	1/30	北海道地区機関リポジトリ実務担当者研修「出版社の著作権ポリシーを読む」（利用支援課、学術システム課）
2 月	2/10	障害学生支援講座（利用支援課）
	2/13	北海道図書館連絡会議（利用支援課長）
	2/17	アイワード見学（利用支援課）
	2/18	平成 26 年度第 7 回広報委員会
	2/19	新渡戸スクール国際シンポジウム（利用支援課）
	2/20 ～ 2/22	国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会（利用支援課）（国文学資料館）
	2/20	国立大学図書館協会北海道地区協会情報発信カスクリアップWS
	2/20	西棟（新棟）引き渡し（北図書館）
	2/23	平成 26 年度第 10 回図書選定小委員会（職員委員）定例会
	2/23	新渡戸スクール学内説明会（利用支援課）
	2/24	2014 年度日本医学会図書館協会北海道地区総会（利用支援課）（旭川医科大学）
	2/27	図書館情報システム第 8 回定例会議
3 月	3/ 3	平成 26 年度第 4 回図書選定小委員会
	3/ 4	平成 26 年度第 1 回点検評価小委員会
	3/ 5	平成 26 年度第 2 回学術研究コンテツツ小委員会
	3/ 5	第 163 回北図書館委員会
	3/ 9	北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（利用支援課課長補佐）
	3/ 9	平成 26 年度第 2 回学術成果発信小委員会
	3/11	教育学習支援検討特別委員会情報リテラシー教育検討小委員会（利用支援課長）
	3/11	北海道大学教育研究支援業務総長表彰奨励賞受賞
	3/17	国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会（利用支援課）（国文学研究資料館）
	3/17	第 229 回図書館委員会（平成 26 年度第 2 回）
	3/20 ～ 3/21	デジタル化資料活用セミナー（利用支援課）（国立国会図書館関西館）
	3/20	古本クリーニングデー（管理課）
	3/20	国文学研究資料館来館
	3/23	平成 26 年度第 11 回図書選定小委員会（職員委員）定例会
	3/23	北海道地区大学図書館協議会幹事館会議（利用支援課長、利用支援課課長補佐）（大谷大学）
	3/24	平成 26 年度第 2 回研修出張報告会
	3/27	英・ウォリック大学来館
	3/27	平成 26 年度第 3 回図書担当係長連絡会議
	3/30	平成 26 年度第 12 回図書選定小委員会（職員委員）定例会

職員研修

No	研修名	開催期間	開催場所	参加者所属	参加者氏名
1	平成 26 年度北海道地区国立大学法人等初任職員研修	H26. 4. 9 ～ H26. 4.11	学術交流会館	管理課、利用支援課	中村瑞穂、根本萌、前田翔太、清重周太郎、丸山絢子
2	日本医学図書館協会第 85 回通常総会及び分科会	H26. 5.30 ～ H26. 5.31	日本科学未来館 (東京都江東区)	利用支援課付 (医)	菊池満史
3	平成 26 年度国立大学法人北海道大学事務職員英語研修 (基礎英会話)	H26. 6 ～ H26. 9	EC 英会話 NOVA 札幌アスティ校	管理課、利用支援課	中村瑞穂、根本萌、前田翔太、清重周太郎、丸山絢子
4	平成 26 年度国立大学法人北海道大学事務職員英語研修 (中級)	H26. 6 ～ H26. 7	事務局共済会議室	利用支援課	芝翔太郎、栗田とも子
5	平成 26 年度国立大学法人北海道大学事務職員英語研修 (上級)	H26. 6 ～ H26. 7	事務局共済会議室	利用支援課	長嶋岳生
6	平成 26 年度目録システム講習会 (図書コース)	H26. 6.25 ～ H26. 6.27	附属図書館	利用支援課付 (函)	得能由貴
7	平成 26 年度北海道地区国立大学法人事務情報化講習会 (ACCESS 初級編)	H26. 6.25 ～ H26. 6.26	情報基盤センター 南館	管理課、利用支援課、学術システム課	前田翔太、横井有紀、栗田とも子、佐々木翼
8	平成 26 年度大学図書館職員長期研修	H26. 6.30 ～ H26. 7.11	筑波大学 (茨城県つくば市)	利用支援課	野中雄司
9	第 10 回学術情報ソリューションセミナー 2014 in 札幌	H26. 7.11	札幌医科大学 (札幌市中央区)	管理課、利用支援課 (医)、学術システム課	豊田裕昭、近藤絵理子、村木麻衣子、菊池満史、梶原茂寿、松尾真木子、瀬藤直也
10	平成 26 年度北海道地区国立大学法人等中堅職員研修	H26. 7.15 ～ H26. 7.17	百年記念会館	利用支援課付 (歯)、学術システム課	笠井美由紀、高石しのぶ
11	2014 年度日本医学図書館協会北海道地区研修会	H26. 8. 1	札幌医科大学 (札幌市中央区)	利用支援課、利用支援課付 (薬)、利用支援課付 (歯)、利用支援課付 (獣)、利用支援課付 (医)、利用支援課付 (医・保)	豊田裕昭、城恭子、松尾博明、東朋子、笠井美由紀、坂本ゆう子、川村路代、菊池満史、福井みゆき
12	平成 26 年度国立大学法人北海道大学事務職員英語研修 (グローバル化対応)	H26. 8. 7 ～ H26. 8. 8	学術交流会館	利用支援課	長嶋岳生
13	第 57 回北海道地区大学図書館職員研究集会	H26. 8.22	道都大学 (北広島市)	管理課、利用支援課、利用支援課付 (歯)、利用支援課付 (理)、利用支援課付 (工)、学術システム課	豊田裕昭、前田翔太、根本萌、中村瑞穂、山崎佳子、守内美月、豊田裕昭、首藤佳子、猿橋キヨミ、河野由香里、栗田とも子、丸山絢子、清重周太郎、芝翔太郎、笠井美由紀、菊池隆憲、磯本善男、梶原茂寿、松尾真木子、茶屋容子、瀬藤直也
14	平成 26 年度図書館等職員著作権実務講習会	H26. 8.25 ～ H26. 8.27	昭和女子大学 (東京都世田谷区)	利用支援課付 (文)	平館真希子
15	第 56 回北海道図書館大会	H26. 9. 4 ～ H26. 9. 5	北星学園大学 (札幌市厚別区)	管理課、利用支援課、利用支援課付 (理)、学術システム課	豊田裕昭、伊藤仁浩、佐藤亜紀、小林泰名、栗田とも子、城恭子、河野由香里、磯本善男、瀬藤直也
16	平成 26 年度目録システム講習会 (雑誌コース)	H26. 9.25 ～ H26. 9.26	附属図書館	管理課、利用支援課付 (函)	山崎佳子、守内美月、得能由貴
17	平成 26 年度北海道地区大学 SD 研修「大学職員セミナー」	H26.10.15 ～ H26.10.16	百年記念会館	利用支援課、利用支援課付 (理)	城恭子、磯本善男
18	平成 26 年度北海道地区国立大学法人事務情報化講習会 (ACCESS 初級編)	H26.10.15 ～ H26.10.16	情報基盤センター 南館	管理課、利用支援課、学術システム課	中村瑞穂、根本萌、小林泰名、清重周太郎、茶屋容子
19	オープンアクセス・サミット 2014	H26.10.21 ～ H26.10.22	学術情報センター (東京都千代田区)	学術システム課	松尾真木子
20	北海道地区私立大学図書館協議会 2014 年度第 2 回業務研究会	H26.10.24	藤女子大学 (札幌市北区)	学術システム課	中條将喜
21	第 100 回全国図書館大会 (東京大会)	H26.10.31 ～ H26.11. 1	明治大学 (東京都千代田区)	利用支援課	清重周太郎
22	第 16 回図書館総合展/学術情報オープンサミット 2014	H26.11. 5 ～ H26.11. 7	パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)	管理課、利用支援課 (理)、学術システム課	前田翔太、平野知、佐々木翼
23	平成 26 年度北海道地区国立大学法人等係長研修	H26.11.11 ～ H26.11.13	百年記念会館	管理課、学術システム課	中村陽、梶原茂寿
24	平成 26 年度大学図書館職員短期研修	H26.11.11 ～ H26.11.14	東京大学 (東京都文京区)	学術システム課、利用支援課付 (医)	清谷あさみ、瀬藤直也、川村路代
25	平成 26 年度北海道地区国立大学法人事務情報化講習会 (ACCESS クエリ編)	H26.11.18、 H26.11.20	情報基盤センター 南館	管理課、利用支援課 (理)、利用支援課 (歯)、学術システム課	近藤絵理子、守内美月、山崎佳子、村木麻衣子、磯本善男、笠井美由紀、佐々木翼
26	平成 26 年度学術情報リテラシー教育担当者研修	H26.11.26 ～ H26.11.28	国立情報学研究所 (東京都千代田区)	利用支援課	河野由香里
27	平成 26 年度北海道地区国立大学法人等学生支援担当職員 SD 研修	H26.12. 2 ～ H26.12. 3	百年記念会館	利用支援課付 (農)、利用支援課付 (医)	見目亜紀子、加藤大博
28	北海道地区私立大学図書館協議会 2014 年度第 3 回業務研究会	H26.12. 3	酪農学園大学 (江別市)	利用支援課	一戸佳織
29	平成 26 年度北海道地区国立大学法人事務情報化講習会 (ACCESS クエリ応用編)	H26.12. 8 ～ H26.12.10	情報基盤センター 南館	管理課	佐藤亜紀、近藤絵理子、平田栄夫
30	平成 26 年度国立大学法人北海道大学事務職員実践英語研修	H27. 1. 6 ～ H27. 1.31	国際本部	利用支援課	長嶋岳生
31	平成 26 年度国立大学法人北海道大学事務職員実務英語研修	H27. 1.19 ～ H27. 2.13	国際本部	学術システム課	梶原茂寿

統計

基盤統計

平成 26 年度雑誌所蔵・受入種類統計（対象期間：H26.4.1～H27.3.31）

区 分	所蔵種類数 （平成 27 年 3 月 31 日現在）			受入冊数（平成 26 年度）								
				購入			寄贈			合計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館（本館）	19,933	12,736	32,669	255	57	312	636	65	701	891	122	1,013
附属図書館（北図書館）	1,180	550	1,730	151	7	158	15	1	16	166	8	174
文学研究科・文学部	3,215	1,756	4,971	351	275	626	531	20	551	882	295	1,177
法学研究科・法学部	731	412	1,143	160	300	460	340	47	387	500	347	847
経済学研究科・経済学部	859	254	1,113	209	154	363	464	53	517	673	207	880
医学研究科・医学部	3,310	2,594	5,904	226	140	366	357	57	414	583	197	780
歯学研究科・歯学部	621	569	1,190	69	41	110	157	23	180	226	64	290
工学研究科・工学部	2,675	2,921	5,596	140	77	217	247	39	286	387	116	503
獣医学研究科・獣医学部	560	862	1,422	33	44	77	54	32	86	87	76	163
情報科学研究科	380	475	855	51	30	81	92	2	94	143	32	175
水産科学研究院・水産学部	2,875	2,252	5,127	108	57	165	309	67	376	417	124	541
地球環境科学研究院	282	337	619	37	4	41	35	6	41	72	10	82
理学研究院・理学部	745	3,447	4,192	68	277	345	50	190	240	118	467	585
薬学研究院・薬学部	160	133	293	22	6	28	34	0	34	56	6	62
農学研究院・農学部	4,987	3,441	8,428	213	132	345	343	109	452	556	241	797
先端生命科学研究院	11	13	24	7	2	9	0	0	0	7	2	9
教育学研究院・教育学部	789	203	992	180	43	223	148	4	152	328	47	375
メディアコミュニケーション研究院	169	180	349	74	66	140	10	2	12	84	68	152
保健科学研究院・保健科学院	781	128	909	100	7	107	88	1	89	188	8	196
公共政策大学院	1	0	1	3	1	4	0	0	0	3	1	4
低温科学研究所	816	912	1,728	29	12	41	79	33	112	108	45	153
電子科学研究所	22	7	29	18	2	20	0	0	0	18	2	20
遺伝子病制御研究所	5	21	26	3	0	3	1	0	1	4	0	4
触媒化学研究センター	78	380	458	9	0	9	5	4	9	14	4	18
スラブ・ユーラシア研究センター	180	1,661	1,841	18	204	222	52	36	88	70	240	310
情報基盤センター	50	7	57	13	3	16	0	0	0	13	3	16
留学生センター	0	1	1	12	4	16	2	1	3	14	5	19
高等教育推進機構	102	76	178	21	21	42	4	2	6	25	23	48
総合博物館	707	410	1,117	4	1	5	2	3	5	6	4	10
北方生物圏フィールド科学センター	28	78	106	49	5	54	2	0	2	51	5	56
大学文書館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アイヌ・先住民研究センター	110	10	120	1	1	2	16	0	16	17	1	18
創成研究機構	7	0	7	14	0	14	2	0	2	16	0	16
計	46,369	36,826	83,195	2,648	1,973	4,621	4,075	797	4,872	6,723	2,770	9,493

平成 26 年度蔵書・受入統計（対象期間：H26.4.1～H27.3.31）

区 分	所蔵冊数 （平成 27 年 3 月 31 日現在）			受入冊数（平成 26 年度）											
				購入			寄贈			製本			総計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館（本館）	1,014,737	833,858	1,848,595	4,819	736	5,555	2,155	1,656	3,811	749	104	853	7,723	2,496	10,219
附属図書館（北図書館）	254,326	116,273	370,599	4,400	554	4,954	134	39	173	103	0	103	4,637	593	5,230
文学研究科・文学部	147,559	121,724	269,283	2,352	919	3,271	12,905	133	13,038	708	255	963	15,965	1,307	17,272
法学研究科・法学部	7,817	1,968	9,785	611	536	1,147	242	166	408	567	650	1,217	1,420	1,352	2,772
経済学研究科・経済学部	9,629	4,620	14,249	220	130	350	1,393	882	2,275	286	313	599	1,899	1,325	3,224
医学研究科・医学部	56,559	97,151	153,710	577	114	691	854	4	858	354	358	712	1,785	476	2,261
歯学研究科・歯学部	24,266	20,552	44,818	266	22	288	68	13	81	139	89	228	473	124	597
工学研究科・工学部	115,753	113,266	229,019	844	80	924	220	787	1,007	356	389	745	1,420	1,256	2,676
獣医学研究科・獣医学部	11,120	26,172	37,292	52	55	107	24	15	39	10	57	67	86	127	213
情報科学研究科	14,471	18,115	32,586	163	0	163	12	1	13	0	0	0	175	1	176
水産科学研究院・水産学部	77,289	55,173	132,462	979	32	1,011	193	33	226	174	127	301	1,346	192	1,538
地球環境科学研究院	10,283	9,279	19,562	229	83	312	46	25	71	21	10	31	296	118	414
理学研究院・理学部	42,679	176,370	219,049	539	349	888	352	66	418	28	535	563	919	950	1,869
薬学研究院・薬学部	7,062	3,731	10,793	154	4	158	55	34	89	15	9	24	224	47	271
農学研究院・農学部	147,363	110,815	258,178	292	145	437	506	390	896	114	37	151	912	572	1,484
先端生命科学研究院	93	97	190	9	8	17	0	0	0	0	9	9	9	17	26
教育学研究院・教育学部	17,805	4,484	22,289	347	91	438	1,055	233	1,288	155	10	165	1,557	334	1,891
メディアコミュニケーション研究院	5,761	9,470	15,231	51	77	128	50	60	110	1	112	113	102	249	351
保健科学研究院・保健科学院	31,245	4,061	35,306	229	2	231	65	0	65	173	9	182	467	11	478
公共政策大学院	1	0	1	73	158	231	1	0	1	23	1	24	97	159	256
低温科学研究所	11,423	25,069	36,492	17	5	22	7	2	9	28	37	65	52	44	96
電子科学研究所	1,252	959	2,211	1	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	2
遺伝子病制御研究所	500	294	794	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
触媒化学研究センター	4,414	16,569	20,983	0	0	0	0	1	1	0	5	5	0	6	6
スラブ・ユーラシア研究センター	2,421	66,167	68,588	168	1,248	1,416	477	1,892	2,369	20	465	485	665	3,605	4,270
留学生センター	0	0	0	10	213	223	0	0	0	0	0	0	10	213	223
高等教育推進機構	3,901	994	4,895	0	0	0	0	0	0	0	12	12	0	12	12
総合博物館	9,141	3,454	12,595	3	5	8	107	26	133	0	0	0	110	31	141
北方生物圏フィールド科学センター	5,861	1,747	7,608	6	10	16	118	12	130	0	0	0	124	22	146
大学文書館	1,684	2	1,686	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アイヌ・先住民研究センター	3,009	460	3,469	25	1	26	355	19	374	0	0	0	380	20	400
情報法政策学研究センター	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
創成研究機構	4	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2,039,428	1,842,897	3,882,325	17,438	5,577	23,015	21,395	6,489	27,884	4,024	3,593	7,617	42,857	15,659	58,516

※「所蔵冊数」は、当該部局に配架されている図書等の冊数。

※「受入冊数」は、当該部局予算による購入・製本、及び当該部局において寄贈受入した図書等の冊数で、別部局に配架した図書等を含む。なお、移動（部局をまたぐ所在変更）に伴う増減、除却に伴う減少は含まない。

電子ジャーナル提供タイトル数

出版社パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
Elsevier (ScienceDirect)		2,243	2,243
Springer (Springer LINK)		1,600	1,600
Wiley-Blackwell (Wiley Interscience)		1,422	1,422
Cambridge Journals Online		339	339
Oxford Journals		266	266
IEEE/IET Electronic Library (IEL)		192	192
その他	4	975	979
小計	4	7,037	7,041
アグリゲータ系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
ProQuest		8,091	8,091
Academic Search Premier		4,770	4,770
メディカルオンライン	1,136		1,136
JSTOR		228	228
その他	574	489	1,063
小計	1,710	13,566	15,276
合計	1,714	20,603	22,317

電子ブック提供タイトル数

出版社	タイトル数		計
	和	洋	
Springer eBooks		9,226	9,226
ACM Digital Library		6,440	6,440
Academic Search Premier		1,363	1,363
ScienceDirect Computer Science eBook		584	584
Wiley-Blackwell Online Books		404	404
NetLibrary (eBooks on EBSCOhost)	142	538	680
Oxford Reference Online		246	246
Methods in Enzymology		235	235
ProQuest Health & Medical Complete		161	161
Maruzen eBook Library	454	123	577
その他	1,111	619	1,730
合計	1,707	19,939	21,646

契約データベース一覧

ABSEES
ASFA
Biological Abstracts
Biological Science Collection
Book Review Digest
CAB Abstracts
CINAHL
CNKI (中国学術文献オンラインサービス)
Current Contents
EconLit
Global Books in Print
Global Health
Humanities Abstracts
Index to Foreign Legal Periodicals
INSPEC
International Political Science Abstracts
JDreamIII
Journal Citation Reports
LexisNexis
MathSciNet
Medline
MLA International Bibliography/Directory of Periodicals
Oxford English Dictionary
Oxford Reference Online
ProQuest Dissertations & Theses
PsycINFO
Reaxys
SciFinder (Academic)
Sociological Abstracts
Ulrichsweb
UpToDate
Web of Science
Zoological Record
法情報総合データベース (第一法規)
医学中央雑誌
ジャパンナレッジプラス NRK
LEX/DB インターネット (TKC)
日経 BP 記事検索サービス
日経テレコン 21

利用統計

平成 26 年度利用統計（対象期間：H26.4.1 ～ H27.3.31）

区分	入館者数			貸出統計			相互協力				学内 ILL		レファレンス件数
	学内	学外	計	学生	その他	計	複写依頼	複写受付	貸借依頼	貸借受付	依頼	受付	
附属図書館（本館）	517,077	58,797	575,874	137,243	49,886	187,129	1,624	4,605	602	1,495	126	99	621
附属図書館（北図書館）	602,131	19,568	621,699	149,652	33,296	182,948	185	139	42	81	30	16	1,664
文学研究科・文学部図書室	4,540	44	4,584	1,045	718	1,763	1,303	661	473	123	37	55	771
経済学研究科・経済学部図書室	15,066	31	15,097	1,274	35	1,309	—	—	—	—	—	—	255
医学研究科・医学部図書館	64,252	415	64,667	10,311	1,390	11,701	1,208	2,238	20	19	98	190	788
歯学研究科・歯学部図書室	30,122	124	30,246	3,680	1,184	4,864	37	343	1	5	18	41	846
工学研究院図書室	112,785	126	112,911	21,017	3,293	24,310	179	582	18	33	65	68	267
獣医学研究科・獣医学部図書室	16,677	22	16,699	1,731	391	2,122	39	244	2	6	30	15	—
水産科学研究科・水産科学院・水産学部図書室	46,079	162	46,241	8,184	758	8,942	88	395	202	97	41	83	475
地球環境科学研究科図書室	2,237	13	2,250	514	270	784	84	46	12	13	37	9	143
理学研究院・理学院・理学部図書室	12,377	—	12,377	5,461	2,487	7,948	302	528	107	18	100	107	200
薬学研究科・薬学部図書室	5,165	9	5,174	3,171	225	3,396	49	43	1	0	16	33	—
農学研究科・農学院・農学部図書室	51,005	163	51,168	8,131	420	8,551	147	515	31	59	51	92	784
教育学部・大学院教育学院・教育学研究院図書室	3,700	—	3,700	291	55	346	—	—	—	—	—	—	—
保健科学研究科図書室	21,388	184	21,572	1,812	256	2,068	510	311	13	3	111	36	180
低温科学研究所図書室	529	10	539	118	50	168	38	73	1	9	24	24	34
北キャンパス図書室	2,089	0	2,089	136	97	233	87	137	8	7	97	13	115
計	1,507,219	79,668	1,586,887	353,771	94,811	448,582	5,880	10,860	1,533	1,968	881	881	7,143

経済学部・教育学部は相互協力と学内 ILL を附属図書館が担当

主要な電子ジャーナルのアクセス件数

出版社系パッケージ	件数
Elsevier (ScienceDirect)	920,021
Springer (Springer LINK)	183,727
Wiley-Blackwell (Wiley Interscience)	338,224
Cambridge Journals Online	26,151
Oxford Journals	65,427
IEEE/IET Electronic Library (IEL)	40,801
その他	451,446
小計	2,025,797
アグリゲータ系パッケージ	件数
ProQuest	13,900
Academic Search Premier	15,430
Hein Online Standard	2,321
メディカルオンライン	80,387
JSTOR	21,700
その他	105,516
小計	239,254
合計	2,265,051

(H27.3.31 現在)

主要なデータベースのアクセス件数

データベース名	件数
ASFA	10,679
Biological Science Collection	9,284
CNKI (中国学術文献オンラインサービス)	12,730
MathSciNet	69,321
Medline	34,737
ProQuest Dissertations & Theses	9,595
Reaxys	58,359
SciFinder (Academic)	248,996
Sociological Abstracts	9,650
Web of Science Core Collection	192,252
医学中央雑誌	125,967
ジャパンナレッジ Lib	46,991
LEX/DB インターネット (TKC)	10,001
日経 BP 記事検索サービス	28,837
日経テレコン 21	70,329
その他	62,423
合計	1,000,151

図書館 HP 等の利用

区 分	学内	学外	計
図書館 HP のアクセス数	1,326,168	4,798,549	6,124,717
OPAC の検索回数	1,377,892	533,865	1,911,757
HUSCAP ダウンロード件数	48,683	87,300,631	87,349,314
北方資料データベースアクセス件数	170,490	4,204,102	4,374,592
Facebook 総いいね数			2,103
LINE @お友だち数			418

(H27.3.31 現在)

図書館委員会名簿

平成 27 年度図書館委員会委員名簿

平成 27 年 4 月 1 日現在

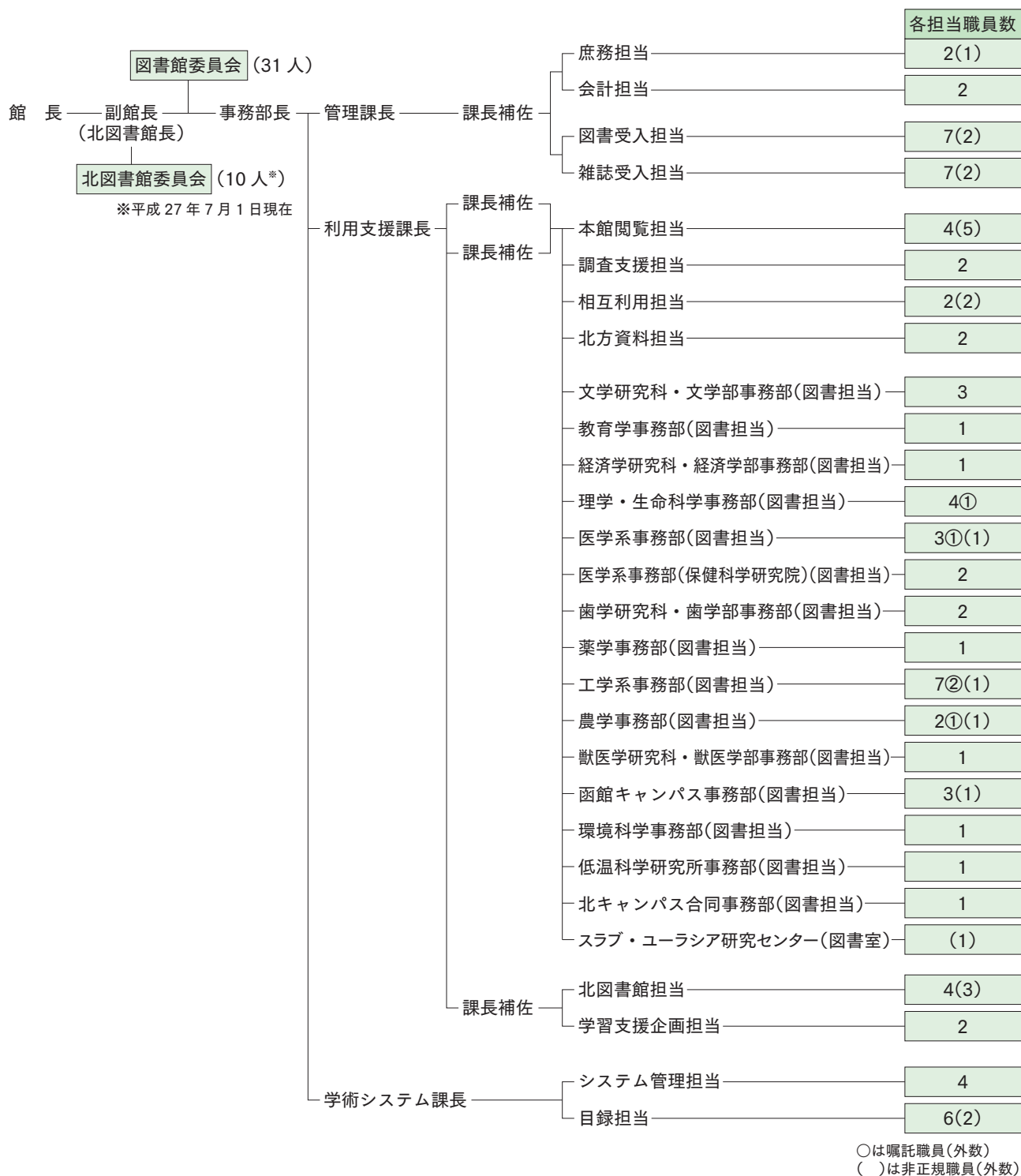
所 属	職 名	氏 名
理事・副学長	館 長	新 田 孝 彦
文学研究科	副館長	望 月 恒 子
文学研究科	教 授	池 田 証 壽
法学研究科	教 授	尾 崎 一 郎
経済学研究科	教 授	西 部 忠
医学研究科	教 授	岩 永 敏 彦
歯学研究科	准教授	高 橋 茂
工学研究院	教 授	安 住 和 久
獣医学研究科	准教授	加 藤 大 智
情報科学研究科	准教授	田 中 孝 之
水産科学研究院	教 授	今 井 一 郎
地球環境科学研究院	教 授	高 田 壯 則
理学研究院	教 授	小 林 達 夫
薬学研究院	准教授	堺 谷 政 弘
農学研究院	教 授	近 藤 巧
先端生命科学研究院	准教授	福 井 彰 雅
教育学研究院	教 授	大 野 栄 三
メディア・コミュニケーション研究院	教 授	長 井 裕 子
保健科学研究院	教 授	井 上 馨
公共政策学連携研究部	教 授	辻 康 夫
北海道大学病院	教 授	佐々木 秀 直
低温科学研究所	准教授	田 中 亮 一
電子科学研究所	准教授	藤 原 英 樹
遺伝子病制御研究所	教 授	村 上 正 晃
触媒化学研究センター	教 授	西 田 まゆみ
スラブ・ユーラシア研究センター	教 授	仙 石 学
高等教育推進機構	准教授	三 上 直 之
附属図書館事務部	部 長	富 田 健 市
附属図書館管理課	課 長	相 原 雪 乃
附属図書館利用支援課	課 長	豊 田 裕 昭
附属図書館学術システム課	課 長	岸 本 一 志

平成 27 年度北図書館委員会委員名簿

平成 27 年 7 月 1 日現在

所 属	職 名	氏 名
文学研究科	北図書館長	望 月 恒 子
文学研究科	教 授	池 田 証 壽
経済学研究科	教 授	西 部 忠
メディア・コミュニケーション研究院	教 授	長 井 裕 子
工学研究院	教 授	安 住 和 久
医学研究科	教 授	岩 永 敏 彦
獣医学研究科	准教授	加 藤 大 智
高等教育推進機構	准教授	三 上 直 之
工学研究院	准教授	佐 藤 信一郎
外国語教育センター	教 授	西 川 克 之

組織図 (平成 27 年 4 月 1 日現在)



職 名	事務部長	課 長	課長補佐	係 長	係員等	合 計
計	1 人	3 人	4 人	27 人	50 【27】 人	85 【27】 人

【】は嘱託職員及び非正規職員で外数

人事往来

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

【平成 26 年 4 月 1 日付発令】

【採用・昇任・配置換等】

富 田 健 市	附属図書館事務部長 [岡山大学附属図書館事務部長]
豊 田 裕 昭	附属図書館利用支援課長 [東北大学附属図書館情報サービス課長]
鵜 澤 和 往	附属図書館管理課課長補佐 [附属図書館学術システム課係長 (システム管理担当)]
金 子 敏	附属図書館利用支援課課長補佐 [附属図書館利用支援課付係長 (医学系事務部)]
佐 藤 洋 子	附属図書館管理課係長 (庶務担当) [薬学事務部係長 (庶務担当)]
堀 越 邦 恵	附属図書館管理課係長 (雑誌受入担当) [附属図書館利用支援課係長 (情報リテラシー担当)]
野 中 雄 司	附属図書館利用支援課係長 (学習支援企画担当) [室蘭工業大学図書・学術情報事務室ユニットリーダー]
土 田 健 治	附属図書館利用支援課付係長 (文学研究科・文学部事務部) [附属図書館管理課係長 (雑誌受入担当)]
磯 本 善 男	附属図書館利用支援課付係長 (理学・生命科学事務部) [北見工業大学情報図書館係長]
菊 池 満 史	附属図書館利用支援課付係長 (医学系事務部) [附属図書館利用支援課付係長 (工学系事務部)]
東 朋 子	附属図書館利用支援課付係長 (歯学研究科・歯学部事務部) [文部科学省大臣官房政策課主任]
三 橋 修	附属図書館利用支援課付係長 (工学系事務部) [附属図書館利用支援課付係長 (文学研究科・文学部事務部)]
坂 本 ゆう子	附属図書館利用支援課付係長 (獣医学研究科・獣医学部事務部) [附属図書館利用支援課付係長 (歯学研究科・歯学部事務部)]
梶 原 茂 寿	附属図書館学術システム課係長 (システム管理担当) [附属図書館利用支援課付係長 (理学・生命科学事務部)]
村 木 麻衣子	附属図書館管理課 (雑誌受入担当) [附属図書館利用支援課 (本館閲覧担当)]
梶 谷 晶 子	附属図書館利用支援課 (北方資料担当) [附属図書館学術システム課 (目録担当)]
河 野 由香里	附属図書館利用支援課 (学習支援企画担当) [附属図書館管理課 (図書受入担当)]
長 嶋 岳 生	附属図書館利用支援課 (調査支援担当) [附属図書館管理課 (雑誌受入担当)]
一 戸 佳 織	附属図書館利用支援課 (本館閲覧担当) [附属図書館利用支援課付 (理学・生命科学事務部)]
加 藤 彰	附属図書館利用支援課付 (理学・生命科学事務部) [附属図書館利用支援課 (北図書館担当)]
得 能 由 貴	附属図書館利用支援課付 (函館キャンパス事務部) [附属図書館利用支援課 (本館閲覧担当)]
高 石 しのぶ	附属図書館学術システム課 (目録担当) [附属図書館利用支援課付 (函館キャンパス事務部)]
根 本 萌	附属図書館管理課 (図書受入担当)
清 重 周太郎	附属図書館利用支援課 (北図書館担当)
丸 山 絢 子	附属図書館利用支援課 (本館閲覧担当)

【出向】

池 田 幸 代	北見工業大学情報図書館係長 [附属図書館利用支援課 (北図書館担当)]
千 葉 浩 之	室蘭工業大学図書・学術情報事務室ユニットリーダー [附属図書館利用支援課 (調査支援担当)]

【転出】

小 島 将 人	環境科学事務部係長 (総務担当) [附属図書館管理課係長 (庶務担当)]
---------	--------------------------------------

【平成 26 年 7 月 1 日付発令】

【配置換】

福 地 由 香	附属図書館管理課係長 (会計担当) [財務部調達課主任 (役務契約担当)]
---------	---------------------------------------

【転出】

高 瀬 吉 晴	低温科学研究所係長 (会計担当) [附属図書館管理課係長 (会計担当)]
---------	--------------------------------------

【平成 26 年 10 月 1 日付発令】

【配置換】

見 目 亜紀子	附属図書館利用支援課付 (農学事務部) [附属図書館利用支援課付 (医学系事務部 (保健科学研究所))]
福 井 みゆき	附属図書館利用支援課付 (医学系事務部 (保健科学研究所)) [附属図書館利用支援課付 (医学系事務部)]
加 藤 大 博	附属図書館利用支援課付 (医学系事務部) [附属図書館利用支援課付 (農学事務部)]
福盛田 勉	附属図書館利用支援課付 (嘱託職員) (本館) [附属図書館利用支援課付 (嘱託職員) (工学系事務部)]

【平成 27 年 3 月 31 日付発令】

【定年】

首 藤 佳 子	附属図書館利用支援課課長補佐
---------	----------------

【辞職】

江 川 和 子	附属図書館管理課長 (筑波大学附属図書館副館長へ)
片 桐 和 子	附属図書館学術システム課長
吉 竹 忍	附属図書館利用支援課課長補佐 (北見工業大学情報図書館へ)
山 家 尚 子	附属図書館利用支援課付 (農学事務部)

北海道大学附属図書館年報 2015

発行 平成 27 年 8 月

編集 北海道大学附属図書館

〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目

TEL : 011-706-2967 FAX : 011-706-2855

Homepage : <http://www.lib.hokudai.ac.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/hokudailibrary>